博士の言動に深まり行く新疑問符

中園の陳述に法廷俄然緊張

兒玉事件公判第三日

勝美の供述をガラリと覆へした中園の陳述は、いづれが眞か僞か、興味をつなぎ、明けて公判三日目引續き中園の殺人豫備の點より事實審理が續行される、重々しい空氣が緊張した廷内に漂ひ何となく風雲をはらんだ形だ、勝美と中園の供述の食ひ違ひ、更に勝美にとつて不利な新事實、中園の見え透いた嘘言、等々幾多の疑問符が次から次へ投げ掛けられた、中園の陳述が果して眞實なれば兒玉博士にとつては拔差しならぬ重大な新事實を提供した事になり法廷内は俄然ザワめいた、卽ち昨年七月、中園は聯隊前一丁目兒玉博士宅を訪問して秘對面の挨拶をすると共に涙のうちに勝美との關係を打明け同時に青柳殺害の意思あるところを述べ「その用意のつもりでバットをお宅にあづけてゐる」と博士と共に臺所の戸棚の中のバットを見てその決心の程を告白したのであつた、この供述が事實なれば博士は當然その當時よりあゝした慘劇が惹起する事は豫想されたところで、萬一さうであれば博士も當然責任の一半を負はねばならぬと見られ、この一事に對しても博士喚問は當然行はれるべきものと見られてゐる、更に中園の審理の進展につれて幾多の新事實が現れるのを豫想するに難くないが、いよ〳〵法のメスは冴えて急所々々を鋭く抉つて行く

情痴地獄桃色行狀記

嫉妬に燃えて勝美虐待

勝美の陳述と正反對の陳述を行ひ俄然法廷の注目を惹いてゐる中園秀雄にかゝる事實審理は三日午前九時三十分から大連地方法院川畑裁判長かゝり開廷、被告兩名は前日と同じ服裝で出廷した、裁判長は前日脳貧血を起した中園に對して「氣分はどうだ、立つて審理が受けられるか」と優しく問ひ中園は裁判長の前に起立した、先づ殺人豫備及び傷害の點から審理に入る、中園が勝美の姙娠を聞いて青柳の子供と思ひ嫉妬の焔を燃やして勝美を責め拔いた情痴地獄の場面――

裁判長　被告は盲腸炎で七年五月五日赤十字病院へ入院しその間もお腹の子供は誰の種だと勝美を責めて虐待してゐるがどうか

中園　そんなこともありません、三等病室でしたから人が大勢ゐて虐待など出來ません

裁判長　誰の子供かを疑つて岩尾病院で診察させてゐるではないか、被告は兒玉の胤か、青柳の胤か、どちらだと思つた？

中園　兒玉さんの胤だと思ひました

裁判長　けれど被告は兒玉との七年間の夫婦生活に一回も姙娠したことがないのに出來たのは怪しいと思ひ、再度診察させてゐるではないか、そして勝美に毎日暴行を加へてゐたといふがこの點はどうか

中園　暴行しましたが、何んの理由もありません（言葉を濁す）

裁判長　其後勝美から青柳との關係を打明けられたといふ點は？

中園　相違ありません、青柳が勝美さんから三回、五回と無心されてゐるといふ事も聞きました

裁判長　被告は勝美に對し金錢の請求を絶交するといふ電話を青柳にかけさせたか

中園　三回位かけさせました、私も青柳に對し人妻を誘拐するなといつて掛けました

裁判長　それで被告は佐藤三輪子を恨んだといふが……

中園　さうです、元を云へば佐藤が勝美に青柳を紹介したからと思ひまして……

裁判長　佐藤は被告に對し勝美さんは貴男以外の男には紹介せぬ、早く會はぬと他の男に取られますよ、といつたといふがどうか

中園　嫉妬に燃ゆる中園が佐藤、青柳を殺害し勝美の姙娠を流産させようと打つた芝居は戰慄を覺える恐ろしい謀みであつた――

これに對し中園は「そんなことはありません」と否認したが有閑マダムの間に行はれてゐる「若い男を取引する」といつた桃色行狀記が法廷に曝け出された、これより中園が佐藤、青柳兩名の殺害を企てた審理に入る

バットと短刀とで

青柳、佐藤殺害の計畫

裁判長　被告は青柳、佐藤殺害の目的で博士邸に短刀とバットを用意したといふがどうか

中園　殺す氣ではありません、單に青柳を脅す心算でした（殺意を極力否認する）佐藤には何んとも思つてゐませんでした

裁判長　檢察官には三回に亘つて供述してゐる、勝美を責めると同時に二人を殺すこと……

中園　そうです

裁判長　いまどうして否認した？

中園　最初の氣持ちを申上げたので殺す氣になつたのは七年七月末頃です

裁判長　この事を勝美に話したかそうしたら勝美は何んと云つたか

中園　默つてゐました

裁判長　イザといふ場合はどうして殺す心算であつた、兇行準備といつたものを述べよ

中園　押入れに隱してある短刀を勝美が持つて來て座蒲團の下へ入れる、バットは蓄音機の箱の下へ置く手はずになつてゐました、そして私が坐る位置まで定めて置きました

裁判長　被告が一時に兇器二つを使ふことが出來ぬが勝美がバットを握ることになつてゐたので

中園　違ひます、私が最初バットで撲り、次に短刀で刺す考へでした

裁判長　それは青柳の場合で佐藤の場合は？

中園　バットで撲る氣でした

裁判長　殺す氣か？

中園　出樣によつては殺す氣でした

裁判長　二人をおびき出すには…

中園　先づ佐藤を呼び寄せ佐藤から青柳をおびき出す計畫でした

裁判長　どちらを先に殺す氣であ［illegible］

博士と格闘する青柳を夢中で短刀で刺した

兒玉邸の慘劇を詳述

かくて裁判長の訊問はいよ〳〵慘劇の核心に進んで中園が青柳を伴ひ聯隊前一丁目の兒玉博士邸を訪れる

裁判長　何時頃だ、誰が出て來た

中園　九時半頃でした兒玉博士と女中と勝美の三人が玄關口に現はれました

裁判長　どう云つて挨拶をした

中園　これが青柳ですと兒玉に云ひましたが或ひはその時前に云つた事があるから知つてゐたと思ひます、下がよいか上が好いかと云つたら階上の方がよいだらうと答へました、勝美は二階に上つて片附けてゐました、その内に自分は女中部屋に飛び込んで葡萄酒を二杯グッと飲みました、それから一番後から二階に上りました

裁判長　どう坐つた

中園　兒玉は床の間に青柳は三疊の方に、兒玉と向き合つて私が坐りました、しばらくしたら勝美が上つて來ました

裁判長　青柳に何とか云つたらう

中園　暑いから上衣を脱ぎ給へと云つて自分も脱ぎました、その時短刀は上衣のポケットに入れておきました

裁判長　上衣はどこにおいた

中園　青柳の右側におきました、それから青柳に今云つた事を云へと申しましたら馬車の上でしやべつた事を再び博士の前で繰り返しました

裁判長　その時は兒玉博士も勝美もお前があゝした事を惹起する事は知つてゐたかね

中園　ハッキリは知らないが多分解つてゐたでせう

裁判長　それから具體的に云へ

中園　青柳は馬車の上でした事を續け例へば野菜屋がどうの吳服屋がどうのと申しましたら兒玉が机を叩いて激怒し勝美は大聲で憤慨してゐました、そのうちに兒玉博士は冷血動物だと云つて中腰になつて掛つて行きました、丁度兩手で摑む樣な恰好でした

裁判長　その時お前はどうした

中園　カッとして洋服の上衣から思はず短刀をとるとたしか青柳の右側横腹の邊りを

裁判長　お前が刺した時博士は知つてゐたと思ふか

中園　云ひました

裁判長　上で止めなかつたら下まで汚れず濟んだと云つたか

中園　知りませんでした

裁判長　兒玉は傍をしてゐたれ

中園　その邊は一切解らないが持つて行きました

裁判長　二階に行つた時は短刀を持つて行つたか

中園　意味です

裁判長　［illegible］

中園　最初は知らなかつたでせう

裁判長　途中でやるつもりだつたのか

中園　途中でやつてゐたら皆に迷［illegible］

僕つたから早産したと告白

勝美虐待の模樣陳述

裁判長　被告は下宿先美濃町岡田又次郎方二階で勝美に暴行を加へ早産させたといふがどうか

中園　そんなことはありません、その日は酒を飲んでゐたので亢奮しました（頗る曖昧な答辯に笑聲起る）

裁判長　お腹の子供が憎くて、因果の子を流すべく高い所から飛び降りよと勝美に脅迫したではないか

中園　因果の子といふことは勝美が云つてゐたので高い所から飛べと私が云つたのです

裁判長　青柳の子供だと疑つてゐるからであらう

中園　私は疑つてゐません、勝美さんが私の氣持ちを誤解してゐたのです

裁判長　勝美の腹を撲つて傷を負はせたのはどういふ考へであつたか、流産させる目的であつたのであらう

中園　そんなことはありません

裁判長　どうして早産したと思つたか

中園　撲つたからだと思ひました

裁判長　目的を達したと思つたか

中園　イ、エ、無意識に撲つたのですから

中園　早産した通知は七月三十日受けました

と極力暴力の點を否認すると裁判長は「お前は口と腹が違ふ眞實のことを述べよ」ときめつける

裁判長　被告は勝美が入院中、青柳との關係を兒玉に會つて暴露したといふが當時の模樣を詳しく述べよ

中園　それは勝美が自分では夫に告白出來ぬといつたからです

中園と兒玉が會見した時の陳述によつて博士に對する新しい疑問符が又現れいよ〳〵博士喚問の必要を有力ならしめた

さうです、告白して更生したいと當時勝美が云つてゐましたから

裁判長　告白すれば兒玉と離別する、さうしたら僕と晴れて夫婦になれると云つたか

中園　云ひません

裁判長　勝美は兒玉が姦通罪で訴へた場合青柳と法廷に立つは嫌だが被告と立つならいゝと云つたといふがどうか

中園　云ひました、私も勝美と結婚したい氣はありました

裁判長　それで結局青柳と佐藤を呼び出したか

中園　それは中止しました、七月二十日頃短刀を博士邸から持つて歸りました

裁判長　其後も被告は勝美の姙娠は青柳の子供だと思ひ暴行を加へてゐたではないか

かくて嫉妬に燃ゆる中園が流產さすべく勝美を責め拔く點に審理は進んで行く

"何分頼む"とは

青柳を殺す事です

眞か僞か博士の言葉

裁判長　被告は兒玉を訪れた時兒玉の顏でワーッと泣き崩れ「勝美は取返しのつかぬ事をした」と一芝居を打つたといふがどうか

中園　そんなことはありません（とせゝら笑ひ）私が博士を訪れたのは十時ごろでした、そして博士に勝美さんとは十年前の知合ひですが、青柳といふ不良少年に誘惑され毎日金を捲き上げられ困つてゐる、それで私は青柳を殺して勝美を救ふべくこの通りバットを用意してゐるといつてバットを見せました、すると博士は『何分頼む』と云ひました

裁判長　兒玉が頼むといつたのはどういふ意味か

中園　勿論青柳を殺すことです

と意外な中園の陳述に公判廷はざわめき、いよ〳〵博士の共犯說を暗示するかのやうだ

裁判長　青柳を殺す決意をしたのは何時頃か

中園　九月四日です、勝美が私の下宿に來たのでそれを話しました、すると勝美も「やり損ずると大變だからしつかりやつて與れ」と申しました

裁判長　それから

中園　すると向三疊の間で兒玉博士と取組んで居るので中に入つて前からグサリと刺しました、するとにと青柳は逃げ出して下に落ちる樣にして行つたんです、私もすぐ後から階下に降りると玄關のところへ殆ど死んで大の字に仰向けになつてゐました、それ以後はボッとして記憶はないが確か二回程突いたと思ひます

裁判長　兒玉博士はその時どうしてゐた

中園　兒玉は來てすぐ二階に上つて行つた樣でした

裁判長　兒玉は來た時何處に立つてゐた

中園　八疊のところでした

裁判長　兒玉は突かなかつたか？

中園　突きませんでした

裁判長　悲鳴は聞えなかつたか

中園　聞えませんでした兒玉が大丈夫かといふから自分は大丈夫だと申しました、死んだといふ意味です

裁判長　上衣のアツイを脱がず［illegible］済んだ［illegible］

中園　違ひます、暑いと［illegible］

裁判長　檢察官には兒玉が［illegible］と云つたと云ふが本［illegible］

中園　間違ひでした、［illegible］

裁判長　二階に上る時刀をかネルを卷いて殺す準備をしたのか

中園　持ちやすくする爲［illegible］

裁判長　リンネルをよく［illegible］

中園　一切何も云ひませんでした、前に刀を置いてアグラ［illegible］ボッとしてゐました

裁判長　傷は二階で二ケ所といつてゐるが本ケ所の傷があるが

中園　記憶ありません

裁判長はこの時死體の見せば中園は不審そうに「メチャクチャにやつた」と答へる、かくて午前の事實審理並に兒玉邸の十分一ト先づ休憩

博士喚問が疑問の解決

その他の證人も申請

中園秀雄の事實審理終了に近づくにつれ關係辯護人團の法廷戰術は愈々白熱して興味を煽つてゐる、卽ち三日午後豫定通り中園の審理が終了せば同人の辯護人長尾辯護士によつて兇行當夜の眞相を語る唯一の人物兒玉誠博士の證人喚問の申請が行はれることに決定してゐる、この結果法的疑問の論爭が法廷に展開されるものと見られてゐる、なほ勝美の辯護人大內田村兩辯護士からは安東研究所長佐藤三輪子、女中馬場ウメの五名の證人喚問が申請されるものと見られてゐる、兒玉博士の證人申請に對しては藤井檢察官及び大內、田村兩辯護士も反對意見を述べると見られてゐるが、法院側では博士によつて當夜の眞相を誘らしめるほかはないと見られてゐる、事に中園と勝美の陳述には隨所に食ひ違ひが生じてゐるのでこの疑問を解く意味に於ても博士喚問は採用されるとの觀測が多い

傍聽に

被害者の弟

青柳克巳君

肉親の兄を奪はれて悲歎のうちに今日のこの裁きの日を待つてゐた被害者青柳眞の弟克巳君は一家に代つて公判の模樣を見て勝美、中園等の陳述の一言一句をも聞き洩らさじと第一日目より人目をさけて入廷、傍聽人のうちに交つてひそかに在りし日の兄を偲んでゐたが三日目遂に廊下に佇むところをキャッチする、感想を聞へば

皆さんに知られるもいやでしたからなるべく知らない顏をしてゐました、初めの日から來てゐますが何を云つても大事な兄を奪つたもの、公判です、從つてさわらないかつて？さあ御想像に任せますが自分としては妙にさう樹しい感情になりません、たゞこの公判に亡き兄の親友で事件の當時いろ〳〵骨を折つて下さつた安部さんが腸チフスで死ぬか生きるかの境にある事です、私は勝美も中園も初めてですし、恐らく兄も中園といふ男は兇行當夜會つた丈でしたらう

（寫眞は克巳君）

鴨綠江の大リンクに氷上の霸を爭ふ

全日本選手權大會始る

【安東特電三日發】昭和九年度の日本氷上王座を決定すべき栄光の日本氷上競技の全日本氷上選手權大會の第一日は三日午前九時より東の鴨綠江鐵橋下の大リンク（一周五百メートル）に於て擧行された、この日朝日東の強風吹き西北西四メートルの快晴、氣溫零下七度弱、定刻近く內地より轉せ參じた「關東聯盟」「諏訪白鳥俱樂部」選手を先頭に滿洲選手を殿りとして入場役員席を前に整列し滿鐵々道工場バンドの君ケ代吹奏裡に國旗掲揚、河村滿洲選手の宣誓など型の如くあり續いて新たに下賜された竹田宮賜牌を前年度選手權保持者明大李聖徳選手に授與し直に男子五百メートルより競技を開始した、觀衆は早くも大リンクの周圍を埋め歡聲湧き選手の意氣沖天

新記錄出づ

男子五百米

順位	氏名	所屬	記錄
一位	石原省三	（安東）	四七秒八
二位	木谷德雄	（安東）	四九秒三
三位	李聖德	（關東）	四九秒六
四位	崔龍振	（關東）	五〇秒一
五位	三代正勝	（撫順）	五〇秒二
六位	濶間正見	（諏訪）	五〇秒三
七位	金正淵	（關東）	五〇秒六
八位	河村泰男	（奉天）	五〇秒八
九位	安達和男	（奉天）	
九位	南洞邦男	（奉天）	五一秒三
十位	吉野正滿	（撫順）	五一秒七

出場申込者四十四名中十三名の多數の不參加者あり、こは甚だ遺憾である、關東の崔、撫順の伊藤と第一組に組んで出たがバックストレットで倒れて問題とならず、撫順石塚、奉天安達第二組に組んで出るもこれまた記錄出ず漸く三組で選手權保持者李撫順三代と組んで第六組において安東石原、奉天橋本と組んで出場、あざやかなフォームで最初よりリードしラストコーナーより猛烈にスパートして出で四七秒八の好記錄をつくる同記錄は同選手の保持する四七秒五の滿洲記錄に及ばないが堂々たる記錄である、期待の河村は諏訪の濶間留十と十四組に組んで出場したが調子惡く八位となり濶間正見もまた惡く六位となる

女子五百米

順位	氏名	所屬	記錄
一位	篠瀬暢子	（奉天）	滿三七
二位	壹岐修子	（安東）	一分零秒五
三位	木谷幹子	（奉天）	一分一秒六
	岩田ミ子	（撫順）	一分二秒六
四位	壹岐イサ	（安東）	一分二秒七
五位	森田幸子	（奉天）	一分四秒一
六位	永野和子	（奉天）	四方ユキ子（奉天）一分四秒三
七位	木下ミツエ	（安東）	一分五秒
八位	渡邊キヨ子	（奉天）	一分五秒五
九位	曾根ハル子	（奉天）	一分六秒二
十位	平野キミ子	（奉天）	山本幸子（安東）一分六秒三

男子に比し出場申込者十九名中僅かに二名の棄權者あるのみ奉天篠瀨、安東森田と四組に組んで出場期待の記錄もバックストレットの向ひ風に出す奉天木谷も安東壹岐と七組に出て最初より競合ひしも期待の記錄とならず奉天の殆勝、奉天篠瀨と十組に組み最初より猛烈に競合ひ好記錄と思はれたがコーナーよりバックストレットに入る頃殆勝つまづいて倒れ遂にレースを放棄す

天氣予報

西の風晴一時曇　四日

各地溫度（三日）

地名	午前五時	午前十一時
大連	零下八	零下五
旅順	同七	同三
營口	同一四	同七
奉天	同二二	同一〇
新京	同一七	同一二
新義州	同一一	同五

今日の小洋相場（十一時半）　金百圓につき百十七圓五十五錢

新講談 丹下左膳（6）

林不忘作　小田富彌畫

發端篇

相模大進坊濡れ燕

せつかく盗み出したこけ猿の壺を、チョビ安てえ餘計者が飛び出したばつかりに、丹下左膳さいふ化物ざむらひに押へられてしまつた鐵の與吉。

何さいつて、妻戀坂の峠丹波様に言ひわけしたらいいか。

いつまで默つてる譯にもいかないから、こゝによつたら、この首は無いものさ、怖なびつくりの身には、暗い裏木戸も鐵の扉の心地……與吉のやつ、司馬道場へやつて來た。

途端に。

出あひ頭に會つた若い植木屋を一眼見るより與の公、イヤ愕いたの何のつて、あたまの素ッてんぺんから、汽笛みたいな音を揚げましたれ。

「うわアッ！ あなた様は、や、柳生の、げん、源三郎さまツ——！」

こいつあ驚かずにはゐられない。これから起つた、あの深夜の亂陣です。與吉の口から、柳生源三郎と判つた以上、最早捨てゝは置けない。峠丹波、今宵こゝで、伊賀の暴れン坊に斬られて死ぬ氣で、立ち向ひました。

「源三郎ごの、斬られに參りました」

「まあ、ソ、ソ、さう早くから、諦めるにも及ぶまい」

法被姿の源三、庭石に腰かけて含み笑ひ……素手です。

眼の降るやうな晩でした。

これより先、伊賀の者殿に刄向ふ者は、一人しかない。それは、もうひとりの源三郎が現れればならぬ——さいふ丹波の言葉に、與吉はふッさ思ひついて、こつそり屋敷を拔け出るが早いか、夜道を一散走り。

吾妻橋下の河原の小屋へ。

かの、無眼片腕の刄妖、丹下左膳を迎ひに。

思ひきり人が斬られる……さ聞いて、躍り上つてよろこんだのは左膳だ。しばらく人血を浴びないて、腕がうづうづしてゐるさころへ、しかも相手は、西國にきこえた伊賀の若様、柳生源三郎！

「イヤ、面白えことになつたぞ」

相模大進坊、濡れ燕の豪刀を、一つきりない左腕に握つた丹下左膳、與吉の騒ぎ立てるまゝ辻駕籠に打ち乘つて——

ホイ、駕籠！ ホイ！

棒鼻に躍る提灯……まつしぐらに妻戀坂へ驅つけました。この時の左膳は、尹田なんか何うでもよい、たゞ柳生流第一の使ひ手さ、一度刄を合はせてみたいさいふ、熱火のやうな慾望に驅られて。

行つてみるさ、おさろいた！

丹波さ源三郎は、また二本の棒のやうに、向かひ合つて立つたまゝだ。丹波は晴眼、源三郎は無手、さ——すつかり氣を呑まれて、根が盡き果てたものか、峠丹波、朽木が倒れるやうに、堂ッさ地にのけ反つてしまつた。

刀痕の影を縺ませて、ニツさ微笑つた左膳。

「なかなかやるのう、代り合つておれが相手だ」

勿論、何の恨みもない。斬りつ斬られつすべき仔細は、すこしも無いのだ。只、劍を執る身の、止むにやまれぬ興味だけで、左膳さ源三郎、こゝに初めて眞劍の手合せ——まるで袖對面の挨拶のやうに。

源三郎は、意識を失つた丹波の手から、その一刀を拔き取つて、柳生流獨特の下段の構へ。

丹波の身體は、與吉が屋内へ擔ぎ込んだ。

この騒動に、お庭を汚す猿轡者さばかり、不知火の門弟一同、拔き連れて二人を圍む。名人同士の妙な立合ひを、妨げられた怒りも手傳ひ、左膳さ源三郎、今度は力を合はせて、この司馬道場の連中を斬りまくることさなつた。

丁度この時、奥まつた司馬先生の病間では……。

新世紀
デミル監督作品　常盤座上映

「暴君ネロ」に次ぐセシルBデミル監督の作品であり題名からも一寸コスチユームプレイを思はすが、これはアメリカに於ける學生運動を取扱つたデミルさしては異色のある作品である

物語は或るハイスクールの附近にある仕立屋のハーマンがギャングの親分ギャレットに再三強請され乍らそれを拒んだ爲めに殺される、これを目撃した學生スチーヴが中心になつて犠牲者まで出して苦心の末、ギャレットに私刑を加へて遂にギャングを一掃するまで——

即ち全米に捲き起つた壯快な學生の社會淨化運動をテーマさしたもので、デミル監督は後半得意のモップ・シインを以てよく學生運動の空氣を描き出し、ギャレットを學生が捕へる前後からスピードさ迫力に富む演出を見せギャレットを縛つて輿を使つて私刑にする場面は手慣れた手法で鮮かに描いてゐる、カメラはデミルの專屬技師ピヴアレル・マーレイが擔當。

名優追悼映畫
『嗚呼岡田時彦君』

不世出の名優故岡田時彦の追悼映畫は新興キネマで青島順一郎が撮影監督中だつたが漸くこの程完成をみた、題名は「嗚呼岡田時彦君」で故人の代表作たる松竹時代（若者よ何故泣くか、淑女さ髯）新興時代（須磨の仇浪、間貫一、祇園祭、瀧の白糸、新しき天、青春街）等の優秀場面の抜萃ならびにその死の前後、また雪の告別式の狀況なども加へて約八〇〇呎に纏め上げたもので、二月早々新興系の常設館に上映される筈

愈よ今明日限り
日活館の「夢みる唇」

日活館における本社後援の名畫「夢みる唇」は去る三十日上映以來完全にフアンを魅惑し好評を博し連夜盛況を續けてゐるが、いよいよ三、四日の二日間限りであるからこの機を逸せず本紙刷込優待割引券を利用してベルクナールが一世一代の至藝を示す名畫「夢みる唇」を觀賞されたい

名畫『夢みる唇』觀賞會
讀者優待割引券
この券持參者階上六十錢階下四十錢
後援 滿洲日報社

名畫『夢みる唇』觀賞會
讀者優待割引券
この券持參者階上六十錢階下四十錢
後援 滿洲日報社

社説

政黨の改善か解消か
政治機關機能の改善か

近頃多く出る言葉に、政黨否認、政黨解消、一國一黨等がある。だが語る人も聞く人もよい加減なもので、ハッキリした考があるかは疑はしい。此の語は今後も屢分使はれさうだから、いくらか一應考へておくも無駄ではあるまい。何れも政黨に關係のある語だから先づ政黨とは何であるかを明にしておかればならぬ。

◇

政黨とは第一に政見の異同によるなかまである。第二に自黨の政見を實際に行ふを目的とするものである。第三に、此の目的を國法に随つて達し得るものである。此等の點より見て、政黨は政治の批評團でなく、又研究團ではない。批評も研究もするけれどもそれは手段であって目的ではない。自黨の政見を實行するには、他をして行はしめんとすることもあるが、自黨がこれを行ふに若くはない。そこで政黨は自然に政權爭奪團となる。

◇

ただの政權爭奪團だといふだけなら、昔の源平も政黨だといふことになる。成程あの時代では如何なる手段を執つてもよいといはれ、政黨であつたらうが、今の時代の政黨は政權の爭奪に如何なる手段を用ひてもよいとはない。それは法規によつて制限されてゐる。此制限内に於いて爭奪するといふのが今の政黨の特色である。例へば戰爭一腕力一を以て爭奪する如きは許されない。何となれば腕力は人を殺傷するものだ。人を殺傷するは法規の禁ずる所で、政黨にも左樣な特權は許されてないその他詐欺取財、贈賄、監禁等法規の許さざるものあるのみならず、政黨の特色機能たる集會、結社、言論等に於て種々の制限を受けてゐる。これを無視すれば最早政黨でなく、犯罪團であることになる。併しながら法規の制限しないことなら、行つても政黨たるには差支ないわけであるから、それが爲めには、法規に觸れない程度に於て極度の惡事でも敢行する方法を講ずる。それならうまくやる方が政權を取り易いといふことになる。今の法規が左樣な仕組になつてゐる。此處に政黨の墮落が起る。

◇

右の實情からして、政黨が政黨の名に於て、又政見を行ふことに附隨して惡事を敢行する傾向がある。此の事實が政黨否認論又は政黨解消論の一原因になつてゐる。併しながらこれは正確に云へば、政黨否認論乃至解消論でなくして改善論である。又法規の改善論とならねばならぬものである。政友會、民政黨はためだから、否認すべし、解消すべしとは理論上云ひ得る。それは別の政黨を作れといふことで、政黨の否認でも解消でもない。

◇

然らば政黨の法律的根據である所の、憲法に定めてある結社の自由を削除したら如何。これを削除すれば結社の自由はなくなるから、或る程度現在の政黨はなくなる。併しながら、結社の自由を許した條文は同時にその自由を制限する條文である。（許すのは原則で、法律でこれを制限する）故に結社の自由が無くなるとも云ひ得る。これが何を意味するかと云へば政權爭奪が今よりも激烈になるといふことである。政爭を源平時代のやうに無制限にするといふことだ。その結果は今の政黨より、もつと悪い政黨が出來る。それは議會を利用するか又は潰すかして更に惡政を行ふであらう。

◇

議會廢止論、又は議會改造論も出て來るが、今はそれに觸れずして、議會を此儘にして、所謂一國一黨一人主義で國事を議するやうにしやうとするなら、政黨政治の弊を除き得やう。併しそれの爲めには議會の機能を今とは違つたものにしなければその効がない。即ち政府と議會との關係を全然切り離さねばならぬ。政府を純然たる執行所となし、議會を純然たる批評所乃至監査所となすのである。立法機能は別所にあつてもよい。而して議員が大臣になる習慣を作らぬことだ。さうすれば、敢て政黨がなくなるとはいはぬが、少くとも今のやうな政黨はなくなる。イギリスの樣な議會中心政治論が、最も多く現在政黨政治の弊害の原因になつてゐる。今の政治最高機關の關係は三權分立の本旨に反して、名は三權分立でも、實は混淆だ。一國一黨論に關しては、此の政黨觀を基礎として別に考へて見たい。

虎林北方の匪賊ソ聯領に遁入
今田討伐隊は饒河占領
奇怪、赤軍の行動

【ハルビン特電三日發】松花江下流方面から東部國境方面に向つた今田討伐隊は一日饒河に迫り同地に蟠居する三江と數時間交戰の後同地を占領したが、この戰鬪で重傷長瀬軍曹、輕傷村井、藤井兩一等兵を出した、また虎林北方下水溝に蟠居し反滿氣勢をあげてゐた高玉山部隊千二百名は、日本軍來るの報に怯えて三十一日大擧してソ聯領に遁入したが土民の言によればソ聯赤軍は同部隊の武装解除をなさず飛行機三臺及び砲兵をもつて掩護したと

“忠君は第一義”
吉林省警備司令官吉興中將
省下全部隊に訓示

【吉林三日發國通】吉林省警備司令官吉興中將は一日午前十一時省下全部隊を省城に参集せしめ特兵に宣誓を行はしむると共に左の訓示をなした

我國執政は一國の元首なり、荷くも三千萬民衆の一切を託す、全國軍隊一致推戴せざるべからず、況んや我國數千年の禮教は等しく忠君を以て第一義とす云々

吉林省警備改編
奥地に分駐を命ず

【吉林三日發國通】吉林省警務廳では今春の討伐開始と共に各縣城駐屯の警備隊を改編して大奥地に分駐するやう各縣警務局長に指令した、右により奥地に附され勝ちだつた縣境警備の萬全が期せられるわけである

戻税請願
英米煙草公司

【奉天特電三日發】英米煙草公司は關東州外において製造される煙草を關東州内に移出する場合これに對し英煙草輸入の際に支拂つた税金の拂戻しを受けたき旨希望なしその中關係當局と折衝を開始する由で内容は英煙草輸入の際支拂ひたる最低の税率により關東州内移入數量に對する相當額の拂戻しを希望してゐるやうである

指導員派遣
棉花栽培奨勵

【奉天特電三日發】一億五千萬元の棉花收穫を目標として棉花栽培を奨勵してゐる棉花協會では春耕期前の二月中に綏中、興城、北鎭、錦西の奉天省管内から熱河の凌源、阜新、建昌の三縣に支部を開設する方針でその準備を進めてゐるが、その支部設置により全縣で十五ケ所となり省協會としてはこれ等の支部に對し、昨年來滿洲合同棉花指導の講習を受け本年二月巣立ちし目下待機中の指導員十五名を特派し棉花栽培地の擴大とその指導を行ふことになつてゐる

國務院會議

【新京特電三日發】來る五日の第五次國務院會議に上程決議案左の如し

一、食鹽の減税率に關する件
二、彩票條令中改正の件

保税制度視察から歸りて
野添奉天商議理事談

【奉天特電三日發】朝鮮内に實施されてゐる保税制度と倉庫につき約一週間の豫定で視察を終へ三日午後二時の安奉線で歸奉した野添會議所理事は語る

京城、仁川その他を視察して來た、保税制度の滿洲に施行されたときはそれによつて受ける便益は倉庫のみならず保税倉庫業にも及ぶと思はれるが朝鮮側でも非常にこれを希望し丁度その際滿洲國星野財政部總務司長が出張中であつたが全鮮商工會議所では奉天に保税制度の實施されることを切に星野氏に希望し且つ會議所としても要望を決議する意向である、なほ鮮滿理事會議は春秋二回開催を朝鮮側は切に希望してゐた

鑛業法
三月中旬施行か

【奉天特電三日發】奉天實業廳に於ては毎日のやうに各地から鑛山成金の夢を追ふ人々がつめかけ山根科長はその應接に苦しめられてゐるが所謂の鑛業法が施行されないので事變前の既得權鑛山四百二十件と事變後受付けた二百餘件に逆戻百十餘件の約八百件に達する歳分法も確定せず鑛業法の施行を待つてゐる、なほ逆産鑛區についてはは政府としても七種鑛業以外のものは民間に拂下げをする意向であるが既に各地の金鑛には盗掘が盛んで官憲の手が屆かずいよ〳〵鑛業法の制定されたときは少からず盗掘してゐる箇所もあらうと豫想されてゐる、多分三月中旬迄には鑛業法は施行されるものとみられてゐる

應募額一倍半
滿鐵社債の好評
昨秋とは雲泥の差

【東京三日發國通】滿鐵社債三千萬圓に對する應募成績は一般財界より注意されてゐるが既に一日の發行條件發表の際下請業者よりの應募額一倍半となり六日よりの公募には更に多くの額が豫想され昨秋の不成績に比ぶれば雲泥の相違で來年度一億五千萬圓の社債發行も容易に行はれんと當局者は樂觀してゐる

共匪と財政難に苦しむ南京政府
臼田中佐の視察談

【天津三日發國通】前關東軍第四課參謀として奉天事件突發以來多大の功績を滿洲に殘した現參謀本部臼田寛三中佐は南支並びに山西方面を視察昨日午後來津したが左の如く語る

南京政府の今後の運命を決するものは矢張共匪問題と財政問題だ、然し弱つてゐるもの、參つてしまふでもなく、するする〳〵つたりに何とかやつて行くだらう、何れにせよ支那問題に對する日本の肚は極つてゐるよ、國民政府が東洋永遠の平和のため覺醒して眞に日本と手を握る覺悟が出來れば日本は欣んでこれと手を握るであらう、然らば幸ひ北支では黄郛政權確立以來次第にこの融調空氣に動きつゝある事は眞に喜ばしい現象であると思ふ

なほ中佐は明日午後天津發奉天へ向ふ筈である

恩赦令
十一日公布か

本庄繁將軍に授爵を奏請
三月頃御沙汰あらん

【東京特電三日發】滿洲、上海事變凱旋將兵に對する第一回論功行賞は近く御裁可を仰ぎ發表されるが「滿洲の父」侍從武官長本庄將軍の不朽の武勲に對する行賞……

滿洲移民協會設立を提唱す（上）
滿洲國帝制記念事業として
清水本之助

私は本年一月東京、仙臺、京城等に於て其の地の各有力者に對し滿洲の水源調査事業及之に關聯して滿鮮移民問題につき御話をしました際移民問題中「強力なる移民協會設立」に關する意見は特に一般の注意を惹き、且つ共鳴せられ熱心に之が實現を希望せらるる向きが多くありました、而して之につき更に廣く各方面の有力者の意見を聞き具體的に進めやうと云ふ事になり中央に於ては目下それぞれ奔走せられつつあります、而して滿洲に於ては私が一々御伺ひする事になつて居ましたが此の十日早々わが君に見舞はれ……

……後日は毎日注射を受けねばならぬ爲め當分思ふ樣に外出も致し兼ねますので、此の問題につき當時私の話した事を繰り合せて取り敢へず大方の御教示を仰ぐ次第であります

×

滿洲國が愈々執政を戴き帝制を新定するに至つた事は誠に同慶に堪へざる處である、此の歴史上の大典を記念し其前途を祝福する爲めに多くの記念事業が企てらるゝであらうが中にも日滿兩國が永遠に和親提携の礎ともなるべき……

日米爲替
一弗方暴落
廿九弗割れ

大連市參事會

大連市參事會は三日午後一時より役所にて開催

外務辭令

【東京三日發國通】外務書記官　宇佐美珍彦　領事（三等）滿州在勤を命ず

關東廳辭令（三日）

人事

市況（三日）

株式

日産續騰　内地休會乍ら

特産

豆粕續騰　邦商の買氣强に

錢鈔

商品

市場電報

神戸特産

家庭

衣類や毛皮類を喰ひ荒す害虫

我國の一ヶ年損害高一千萬圓

恐るべき被服・非常時

非常時に際し生活改善の聲は各方面にあがつてゐます。この時

被服

問題も亦經濟生活の上に關る重要の事柄と考へますが、毛織物や其他の衣類、羽毛、毛皮類に對する蟲害も決して閑却出來ない問題だと思ひます。ドクトル・エルネスト・メツクバツハは、衣蛾による全世界の損害高は羊毛だけでも年に一千二百五十萬封度に上ると發表してゐます。最近の調査に因ると英國では一年間にこれらの蟲害による損害は百萬磅（約二千三百萬圓）を超え、北米合衆國聯邦政府民蟲局では全米の損害は年に二億弗を下らぬと發表し、我國でも一ケ年の損害高は一千萬圓と推算されてゐるのです。此恐るべき

毛織

物や絹織物類を喰ひ荒す害蟲には現在發見されてゐるところでは六種類あり、この他に植物性纖維を主として喰ひ荒す蠹魚（銀蟲）、竹の蟲等もありますが、一番被害の甚だしいのは前の六種です。凡て害蟲が毛織物や動物性纖維を喰荒すのは皆幼蟲の時代で、家の内は勿論倉庫、屋根裏などの隙間に潜んで時々出ては衣服類を喰べて生長し、春が來ると蛹となり更に蛾に變態して屋外を飛び廻るのでこの時は花蜜を訪れたりして人間に愛されるのです。しかし

雌雄

交尾の後は再び前の室内の暗い所にかへつて毛織物、毛皮、動物の標本、掛軸、干魚等に卵を產みつけ、數日經つてその卵は幼蟲に變つて喰ひ荒すのです。この六種の害蟲は大別して鰹節蟲屬と衣蛾屬とに分類します。鰹節蟲は動物の死屍を喰ふ鰹節蟲群中に屬して、トビ鰹節蟲、丸鰹節蟲、姫鰹節蟲の三種があつて我國に特に多く常に暗い所を好み室內の床、柱の隙間貯藏衣類の間に住んでゐます。幼蟲は五、六月の頃に孵化し七、八月の頃まで死體の外羊毛、象牙、鯨骨、鰹節、干魚、獸皮類を好んで喰ひ荒し、又蠶の蛹、繭を喰つて製糸家に

莫大

な損害を與へます。なほ傳染病菌を傳播することも決して鼠などに劣らないのです。この他に衣類に最も大きな損害を與へる衣蛾屬といふのがあります。衣蛾屬には衣蛾、小衣蛾、毛氈蛾の三種があり、何れも衣類の間に在つて盛んに喰ひ荒すのです。これ等の害蟲は横山博士の調査によれば平均一匹で二百四十九粒の卵を產み、生存期間は長きは四百五十一日平均短いのでも百七十九日位は生命を保ち、直接喰害を與へる幼蟲の期間は短きは三十三日、長きは六十日前後とされてゐます（實ドライ商會主師岡登郞氏談）

"おらが天下"で日本犬熱

その種別と體型の知識

一頃

白熱したシエパード熱が內地ではこの頃漸く衰へて、今度は久しく顧みられなかつた日本犬が非常な勢ひで日本內地に流行し始めた結果、滿洲の日本人間にもボツ〳〵日本犬を求むる人達が見えて來ました。こゝに三、四年來山岳地方に影をひそめた日本犬が「おらが天下」とばかり三四年の街頭をのして步く日が來たのです。日本犬の魅力は原始的なごく單純強靭な、ワイルドな性格と男性的なその風采です。そして俐巧で純情比類ないことはあの名犬ハチ公（秋田產の純日本犬）を見ても判りませう

昭和

九年は戌の年、日本犬の年です。日本犬の種別、體型等を一通り心得て置くのも無駄でありますまい

大型種　秋田犬などの類、容貌は獅子のやうにいかつく十三四貫もあり勇敢で護身用に最もよいから熊獵などに用ひられる

中型種　紀州、東北、四國、秩父、飛驒方面から南は鹿兒島まで方々に散らばつてゐる。甲斐犬として精悍、土佐犬などはこれに屬する。四貫から九貫前後、鹿、猪などの獵には持つてこいである。

小型犬　俗に柴犬といふのが大抵これで重さは一貫から樣々四貫どまり、全國到るところにあるが岐阜產が第一と云はれてゐる。形が小さいから穴に住む動物の獵に好適、で日本犬の標準體型としては

1 體つきが頑健で各部が充實し見るからに精悍勇猛の感じがする。

2 頭が概して大きく大きいものほど強い。

3 眼は三角で眼の色は黑褐色を帶び上眼や横眼を使はない

4 鼻腔大きく黑くて角ばつた鼻をしてゐる。

5 耳は薄く短く直立して洋犬より耳の位置が高い。

6 尾は卷尾と差尾とあるが卷き方は一樣でない。

7 毛は硬く野趣にさんでゐる。

ふけ

◇立春…けふは立春です、寒い、寒いといひながらも「春たち申し候」の聲を聞くと、なんとなく和やかな氣分が致します。

◇祈年祭…宮中ではけふ「としごひの祭」をなさいます。これは祈年祭で陛下御自ら、この年中害蟲、風雨、旱天のうれひなく五穀の豐穰ならん事を御祈りになる祭事です、この御儀は文武天皇の大寶年間に稍定まり、有名な延喜式の制定されました醍醐天皇の御宇延喜年間に完備したものであります。

◇初午…けふはまた初午ですが、初午の稻荷をお狐さんが御本尊だと思ひちがひをしてゐる人が多いのですが、これは猿田彥命大宮女命、倉稻魂命、田中神を合祀した衣食住の守護神たる稻荷大神であるのです。毎年二月の最初の午の日に行ふので初午と呼ばれるのです、いたづらに初午稻荷のお祭だといつて子供たちにどんちやんさわぎをさせるばかりでなく、かうした理由をはつきり敎へましたならば、初午の意義はあるのでせう。

美味しい林檎のお菓子

食後にもつてこい

林檎フリツター

これは洋食のあとのデザートコースによく出てくる、リンゴのあげもので、紅茶を頂く時等には氣の利いた美味しいお菓子です。リンゴは皮をむきますとすぐに色が變りますから、初めにころもを作つておきます。これは普通のてんぷらのころもより少し上等です。メリケン粉コツプ一杯、ベーキングパウダー小匙二つ、砂糖小匙半分、玉子一つ、牛乳コツプ四分の三、以上の割合で玉子を泡立たせその中へ牛乳を入れてよくまぜ、乾いた粉類を一緒にしてふるひながら入れて、掻き廻します。リンゴの方は皮をむき、しんを取つて三、四分のあつさに輪切りにし、もしくは半月形にし、ふきんの上にならべ、上からは粉砂糖と肉桂粉を一緒にふりかけ、それに以上のころもをかけ、手早く煮立つた油で揚げます。

アツプル・スノー

これもお食後によろこばれるプヂングの一種です。リンゴは酸身の多いものを選びます。三個の皮をむき、しんを取つていくつにも切り、柔かく煮て裏漉しにかけておきます。この裏漉しがすつかり冷えましたならば、レモンの汁を少量落し、白砂糖一合を加へ、よく混ぜておきます。次に卵の白味だけを三個取り、よくかき立てゝ雪のやうに白く固くなるまでにし、前のリンゴと交ぜ合すのですが、リンゴは一度に一匙づゝ入れてはよくかき立てるやうにして最後まで卵の泡をこはさぬやうに致します。

メーイリング

葡萄酒で煮たリンゴの上に白身をかけ、それを更に天火で燒いた美味しいお菓子です。葡萄酒は赤いのを用ひ半々に水を割つた中へ砂糖を加へ、これでリンゴを煮含めます。煮ふくめるのですから蓋をした鍋で火は中火にします。卵の白身一個を前述と同じ樣に雪にかき立てゝリンゴの上にのせ、天火に入れて五分燒くとよろしうございます。なほ、もつとおいしいお菓子にしますには、カステラを七、八分の厚さ二寸四方位の正方形に切り、この上にリンゴのふくめ煮を數個のせ白身のかき立てを上にかけ、これを天火に入れて固く燒きます。白身の雪の上にこんがり、こげめが出來る頃が丁度宜しうございます。

日本棋院 秋季 大手合戰譜（第十一局）

先　三段　中山手實
　　初段　松林茂比古

—【8】—

●一四一ル十八	○一四二タ十四
●一四三タ十三	○一四四ヨ十四
●一四五レ十四	○一四六ヨ 五
●一四七カ 五	○一四八ワ 二
●一四九ワ 三	○一五〇チ 一
●一五一ソ 五	○一五二ソ 四
●一五三チ 三	○一五四へ 六
●一五五チ 五	○一五六イ 五
●一五七チ十八	○一五八チ十七
●一五九リ十九	○一六〇ト十八

所要時間累計（白 五時三十六分／黑 三時五十四分）（制限時間各七時間）

對局者のことば

黑　百四十一では（イ七）にノビ出すのが大きい處でした、さうノビ出すことは先手を取らうといふ白百四十の意中を行くものであるにせよ、兎も角も現實に大きい手ですから—

黑　百四十三は單に百四十五と受けておくべきでした、百四十三と白百四十四との交換は、無い方がまさつてゐます

白　百五十まで、これに依つて右上隅から左上隅へかけての黑の大石の死活をうかがふ意味を生じたのは意外でした

戰の跡

◇白百五十の後に黑（チ六）とキル手段がある。これが黑の大石の眼形を奪ふのである、本來黑は百四十一以降の手でこれに備へてゐなければならぬ理であるが、その餘裕がないだけに大勢は既に微細の差に終るべき局面となつてをり、それも寧ろ白に望み多きを自ら語つてゐるものではないだらうか

▲**大連友の會**　二月例會を二月五日午後一時より新設の山吹町三十二番地友の家にて行員の轉勤に際し若し行く先に女學校がなくともこの學莊を利用すればよい譯である、なほ希望者は前記の所に直接交渉すれば簡單に入舍し得ることになつてゐると（寫眞は黎明學莊）

愛國婦人會　滿洲本部大連支部では八日午後一時から滿鐵社員クラブで第一回の役員懇談會を開き今後の活動方針、豫算等に就て協議する筈

大連婦人會　では毎月一燈園の南先生を招いて精神講話を開いてゐるが、二月は六日午後二時から北公園幼稚園で開講、會員のみに限らず汎く一般希望者に公開する由

老虎灘の黎明學莊

沿線女學生のための寄宿舍

大連市敷島町基督敎青年會館に事務所を持つてゐる笠天外氏は昨秋十月初旬から老虎灘汐見臺九番地の自宅を「黎明學莊」と稱し沿線方面から高地女學校に遊學してゐる學生のための寄宿舍を經營してゐる、現に二、三人の女學生が寄宿してゐるが頗る家庭的で、市內各女學校へも電車で約三十分で達し得られる地點であり、何しろ山水明媚の山麓地帶とて健康上にも十分恵まれてゐる寄宿舍である、沿線からの今春の新入學生や市內の會社銀

家庭顧問

この白下帶で結婚はどうか

【問】二十歲の處女ですが卵の白身樣の白下帶が下ります、月經前四、五日間すつかり止まりますが、寢起きとか興奮した時とかに特に多いやうです、放つて置いてよいでせうか！又結婚しても差支へないでせうか（一讀者）

頸管カタル結婚前に完全に治せ

【答】子宮內膜炎、殊に頸管カタルと思はれます。勿論放つて置いてはよろしくありません、勇氣を出して御結婚前に完全に治療なさる必要があります（岩男其二郞）

ラヂオ

▲午後六時三十分（東京より）現代歌謠曲總まくり（第一夜）中山晉平作品集＝市丸、德山璉、四家文子、三味線龍鶴、伴奏日本ビクター管絃樂團

▲午後七時（東京より）聲色「吹き寄せ」柳亭春樂

▲午後七時二十分（京都より）映畫劇「淺太郞赤城の唄」小松春彥原作、長江道太郞脚色、松竹キネマ京都撮影所（配役）板割の淺太郞（高田浩吉）國定忠治（尾上榮五郞）忠治妾お照（花岡菊子）日光の圓藏（志賀靖郞）御室の勘助（坪井哲）伊助太郞（花房みどり）淸水の岩鐵（澤井三郞）其の他大勢、演出秋山耕作

▲午後七時五十分（大阪より）浪花節「桂小五郞と藝妓幾松」京山若丸

▲午後八時三十分　時報（東京より）

▲午後八時三十一分　レコード浪花節大會（第二日）關東鶴甲齋虎丸、篠田實、關西京山小圓、酒井雲

▲ニユース、氣象通報

大連　JQAK　二月四日

▲午前六時卅分　ラヂオ體操第二

▲午前七時　ラヂオ體操第一、各地溫度通報

▲午前十時　レコード

▲午前十一時五十分（新京より）街頭放送＝（一）國都風景（二）護國耐寒演習＝新京日本橋畔或城內北門附近より中繼＝新京放送局案＝田口省吾

▲時報、ニユース

▲午後三時三十分　ニユース

▲午後六時　ニユース

本社特選　新棋戰（其四）

先四段△加藤富久
平手　四段▲建部和歌夫

【圖は八九飛成迄の局面】

加藤氏持駒銀歩歩

△五四歩　▲七七歩
△八八金　▲七八歩成
△同　金　▲五二歩
△八八金　▲九九龍
△八六飛　▲三四歩
△八一飛成　▲七一香

累計五十二手

土居八段講評

建部君の七七歩打は、味方の五筋に危險があるために無効に了り結局一步損じた、直に五二歩打と指す處である、加藤君は決戰の目的を以て、八八金以下飛車の侵入を圖つたのは面白い。

萩原七段解說

加藤氏の五四歩は、次に五三歩成の先を窺ふのであるが、これは敵に三四歩と突かれた場合、敵角の利きが十分になるから、此處は直ちに八六飛と交換を挑み、同飛、同角、二六飛、八三飛と指す方が、次に七一金なら、五三角成でよいのである。建部氏の一步損して、次に五二歩の受けは止むを得ない、加藤氏の八八金は、手順に香を取られるが、次に八六飛と廻つて飛車の侵入を圖り、攻め合はさうさするものである。建部氏の三四歩は、角が遊んでゐては、十分に對抗が出來ないので、三四歩と突いたもので、加藤氏の先の五四歩の蹴込みは、結局敵角を十分に利かすやうになつたことが現出したのである。

奉天の傳染病患者 一月中百四十四名

天然痘外人にも發生

【奉天】奉天の傳染病は本年に入つて依然猖獗を極めて一月だけで合計百四十四名に達し、そのうち天然痘が大部分を占めて百八名、赤痢、チフスが各十一名、猩紅熱十二名、ヂフテリヤ二名で、うち天然痘で死亡したものが十五名、その他四名、合計十九名、死亡率は一割五分と云ふ驚くべき數を示してゐる、尚三十一日發生した天然痘患者は左の八名である

△信濃町二三赤井貞治(三七)△浪速通一圓岩崎つれよ(四九)△橋立町一大吉村智子(四〇)△松島町一六川久保義(二九)△柳町七安原吉三郎△醫大醫院大西きく子(二九)△日吉町五加藤義雄(二九)△新京二條通長島ちよか(三三)

また二日午後二時頃醫大醫院に乳母につれられて來たサンクリー・ロバートの二男ジョン・セシリさん(生後十二ケ月の英人)が天然痘と診斷されたが附屬地における英人の天然痘患者はこれが最初で奉天署では英國領事館に交渉し引取らしめることゝなつた

遼河の治水對策 空から研究

滿洲當局者の視察

【奉天】滿洲國南面の水運地帶遼河の航運を交通部で統轄すべく遼河工程局を解散せしめ、以來遼河治水及河港改修を交通部に接收する事となり目下清算中であるが河港改修、治水に關する權威者を委員として遼河工程技術委員會を組織することゝなり、將來の具體案を建て、七月營口に開設された航政局工程科で現場作業を行はせることゝなつて居る、此等治水工事は交通部と國道局と密接な關係があるので直木新任國道局長、大迫同總務處長、寛同第二技術處長、後藤同治水科長、交通部迫總務司長、島崎科長等は三日飛行機で遼河を空より視察午後一時半來奉したが交々語る

接收後の實施案を作るため交通部、國道局聯合で視察に來た譯だ、沿岸の[illegible]は匪賊討伐の一方策として水田化が考へられて居るがそれは鹽分除去に相當の費用を要すべく實際問題として困難が伴ふであらう、淡水の誘引が出來る樣なれば立派な水田が出來ることだらう

直木氏一行は四日午前八時半營口に向ひ詳細に遼河視察を行ふ筈である、國道局長直木倫太郎氏は二十日頃正式着任挨拶に來奉の豫定であると

奉天の人達には 貞操は捧げない

他所の男にはどうだらうか 處女藝妓胡蝶の纏れ

【奉天】一九三四年、お金のためなら貞操も處女も他愛なく捧げる女の多い世の中にこれは又「妾こんな事があつてもこれだけはいやです」とお客さんをさる度に逃げ出し月に一回の檢査にも「ご免なさい」とシクシク泣き崩れ樓主や係員を手古摺らしてゐる珍藝妓市內淀町某樓抱へ胡蝶事中井勝美(二〇)=假名=はこれでは全く商賣どころかお客さんの

◇感情を 害し却て人氣を落して仕舞ふといふので先月來休業せしめて一人前の女になるやうに仕込んでゐるが胡蝶も奉天の人からよくない印象を小さい胸にきざみこまれたと見え「奉天の人にはどんなことがあつても操をさゝげません」と駄々をこねて聞かないので手圖の金をつぎこんでゐる樓主側でも女が貞操をかたく守るのは結構であるが彼女のいふがまゝにさしてゐては商賣にならぬので他に轉替方を斡旋中である、しかし他の方でも彼女のいふ通り奉天の人には操をさゝげないが地方に移つたらさゝげるか又「妾はこんなことがあつてもいやです」と處女に

◇鐵條網 を張つて迫る客を追拂ひ死守するか何れにしても困つたものだと當惑してゐるとは近代の傑作であらう

斬りつけて 金錢を強奪

【奉天】舊年末の特別警戒網を潜つて白晝の強盗事件——一日午前十一時半頃市內浪速通三三番地滿洲醫大醫院范景林(二七)方に菜切庖丁及支那刀を所持せる二人組強盗が玄關より戸を破つて侵入し主人不在で留守居中の范の妻女と老婆を脅迫し金品を強要したが老婆がきかなかつたため頭部に斬りつけ怯えた隙に乘じ金票大洋取混ぜて六十圓を強奪逃走した、急報により奉天署では午後零時四十分非常召集を行ひ犯人の捜査を行つたが逮捕に至らず老婆は頭部に全治二週間の傷を負つた

美少年の強盗

【チチハル】去る二十九日正午ごろチチハル市龍門街三六市政局總務股長劉乃康方に十七八歳の滿人美少年が自轉車で乘りつけ「自分は市政局のボーイだが金を少し貸して呉れ」と夫人に迫つたので、夫人が之を謝絶するや否やガラリと態度を變へ、矢庭に懷中より拳銃を取出して突付けて脅迫の上、國幣百十元を強奪して逃走した、急報に接した警察廳では直に犯人を嚴探中である

遺骨の凱旋

【奉天】東本願寺に安置してある江本少佐以下二十四體の遺骨は三日午後八時五十五分大連經由[illegible]く凱旋した

東拓支店長

【奉天】米澤氏の後任として東拓奉天支店長に榮轉した新谷俊藏氏は二日午後二時安奉線にて着任

舊農商貸付 全利息免除

【奉天】奉天全省商務聯合會が昨年來希望してゐた舊軍閥時代の舊農商貸付金に對する利息免除及び十ケ年年賦償還方を財政部に陳情中であつたが農村の農作飢饉で政府もその窮狀を認め正式許可をして來たのでホットしてゐる

小野電氣主任

【普蘭店】普蘭店民政署電氣係主任小野光男氏(三三)は豫て病氣の爲め大連聖愛病院で加療中の處一月二十九日午後零時二十分藥石効なく遂に逝去した、遺骸は大連で火葬に附し二日午後三時から當地民政署俱樂部で告別式を行つた

十四萬圓の拐帶

露人容疑者を取調ぶ

【奉天】既報、上海における十四萬圓横領拐帶犯人が奉天に逃げこんだとの捜査手配により奉天署ではその容疑者として奉天千代田通オリエンタルホテルに投宿中の露人アドリアン、カーシー(三〇)を引致取調中であるが係官の取調べに對し彼の自白せる處は左の通りである

上海共同租界にある貿易商アーシユコンパニー主人英人マイクが先月十五日額面七千八百五十ドルの小切手を同地中國商業銀行で受取るやうハルビンザリヤ姉妹紙上海ザリヤ記者である前記アドリアン・カーシーに依頼したのでカーシーは早速之を受取りマックに全部渡した、十七日となつてマックはカーシーに對し現金一千ドルを手渡し「お前がこゝにゐては面白くないから天津方面へ行つたらどうだ」と云はれたので大金をロハで貰つたカーシーは喜んでその地を去り天津まで落ちのびたが知人も何にもないので更らに奉山線で奉天に來り大連に赴いて再び奉天に戻り同月二十九日前記オリエンタルホテルに投宿したので十四萬圓事件には直接關係はないと稱してゐるがマックが商業銀行から引出した小切手も僞造で小切手を僞造行使し商業銀行から十四萬ドルの現金を騙取した一味が上海に於て逮捕された記事を掲載せる露字新聞を所持してゐる處から見て或は之に關係あるものと見られてゐる

奉天の水道給水量增加

【奉天】人口の增加に比例してぐんぐん伸びる奉天の水道給水量は十二月に三十二萬噸のものが一月には六萬噸增加して三十八萬噸となり水道料金も一昨年二十萬圓であつたものが昨年は二十五萬圓に上り、本年は更に三十萬圓に達する見込みである、給水量が此の調子で增加するならば本年末までには既在の三箇の井戸にては不足となりもう一、二箇の井戸が必要となり掘鑿する計畫の由であるが右につき角田工事係長は「奉天市民に決して水缺乏の不便は與へないつもりだ」と云つてゐるから奉天市民は遠慮なく充分な水を使つて頂きたい

大同三年度の國道建設

奉天建設處の計畫

【奉天】王道の普及は交通網の發達からとスローガンに國道局では既設道路網の完成に努力して居るが奉天國道建設處では大同三年度千三百キロの完成を目指して準備進捗中である、卽ち

路線	距離
平泉喜峰口	九二キロ
凌源冷口	一六五キロ
赤峰承德	二二五キロ
海城大孤山	一七一キロ
大孤山鳳凰城	九五キロ
通化輯安	九四キロ
開原通江口	三七キロ
寛甸通化	二二九キロ
桓仁新賓	八〇キロ
通化臨江	一三九キロ
合計	一三二七キロ

であるが此の中大孤山鳳凰城は大同二年度に繰上げられ來る六月頃に完成の豫定である

安東の鎭平銀

【奉天】廢止計畫によつて問題となつてゐる安東鎭平銀の安東各銀行、商店、錢號、所有現在高は大略左の通りである(單位兩)

所有者	現在高
朝鮮銀行	一、〇〇〇、〇〇〇
滿洲銀行	五一〇、〇〇〇
中央銀行	五五〇、〇〇〇
東洋實業銀行	二九〇、〇〇〇
中國銀行	二一〇、〇〇〇
協成銀行	五〇、〇〇〇
其他錢店錢號	二、七一〇、〇〇〇

奉天人の讀書熱 餘り香しくない

殊に冷淡な御婦人方

【奉天】奉天在留邦人の激增と共に圖書館の增設が當然必要に迫られた現在奉天には萩町の圖書館と八幡町圖書館の二ケ所を滿鐵が經營して居るが萩町圖書館の方は資料圖書館として研究的なものとし八幡町の方を娛樂的な讀物を集め通俗圖書館として居る、一般人はかうした通俗的なものを好み今では其不備を感じ又場所的に片寄つて居るので今度は五百戸新社宅の方に新に設ける必要に迫られ八幡町と同性質のものを近く開設することゝなつた

萩町圖書館は五萬九千餘の藏書を有し八幡町の方は九千餘を藏して居るが奉天人が如何に之等を利用して居るかを見ると特殊の關係もあるが極めて少い、卽ち一月中は三千百五十九冊、內館內二千九百六十六冊、持出し百九十三冊で其の中最も多數を占めて居るのは何と云つても滿蒙關係其他地歷產業政治の九百餘冊で、次が文學語學關係で八百八十餘冊之れには外人や特殊な研究家の占むる所が相當多いとの話、凡て〆一日平均八十五人百二十一冊であるが前年同期の百九人百三十三冊に比べると仲々の減少を來して居る

在住者が增加して居るのにどうして減つたのか分らない、一方讀書人の中婦人の占むる地位は依然低く五十九名しかない、尤も學生八百三十七名の中に相當の女學生も含まれることだらうが

其處で萩町圖書館は資料圖書館だから婦人が少いのだらうと思つて八幡町の方へ行つて見ると總は一月中三千八百七名五千餘冊、其の中小說類二百七十八名千二百四十四冊、雜誌九十五名九百七十一冊を數へて居る、この中婦人九十五名で少し多いやうだが娛樂讀物小說、キング式な雜誌、婦人雜誌が斷然多いさうで特殊なものを除けば研究よりは娛樂としての圖書館の面目を伸ばして行くことに努力される事になる

旅順の噂

土地に特殊の物產が無い旅順にコレと云ふ土產品のない事は既に遺憾の極みである、誰も滿洲見學して來る多くはいづれも相當な名殘をするため總ての條件に不利益が伴つてゐる事も爭はれない事實、價格と容積、持ち歸りに便な點などは最も土產品としての注意を拂ふ點である◆この間のこれに對する座談會は何等決定する事に至らず散會して仕舞つた事は誠に遺外である、當業者の眞意が那邊に在るか一寸判斷に苦しむが旅順としては是非適當な土產品がほしい、それは旅順そのものより來遊者が切望してゐるのだからなア◆旅順は然い空氣があつて座談會の如き又は相談會の如きものを幾度して遂に討論會化したり議論化れに終る事は改める必要がある、總ての會合に新味を出して協力一致旅順の向上、發達、躍進振りを發揮して貰ひ度いものである

旅順放送

▲旅順高女第十回氷上運動會は既報の如く一日午前九時から大正公園に於て擧行、全校參加人員五百八名にて平田校長開會の辭に次いで自由練習より蜜柑拾ひより十五番の競走が行はれ豫期以上の成績を收め午後零時半盛會裡に散會した

▲第一小學校氷上運動會は六日午前九時半から富士町リンクに於て擧行される

▲旅順金融組合一月中の業績を見るに都市組合に於ては當月加入數人員一、口數六、脫退人員口數各一にて月末現在數二一九名の六三七口、又貸付金は當月分三三一、〇一七圓回收金二八、三六四圓七二月末現在貸付人員一二一六金額一二一〇、八三七圓五七

▲同村落組合では當月人員、口數同樣、脫退亦人員、口數同一、月末現在では人員一、一三九口數一、七〇八貸付金は三四、三一七圓小洋錢九、八一五元、回收金一九、五九九圓、小洋錢六、四五〇元、月末現在金二〇五七五〇圓四二、小洋錢八五、六六元であつた

▲白玉山一一小澤廉之助氏方では三十一日八男文也君が出生

▲超家溝陸官第六中上千代松氏方では二十三日二男猛君が同上

▲富士町三篠崎恒盛氏方では二十二日五男日出美君が同上

▲濱通町九筒井健十氏方では二十一日二女美美子さんが同上

▲明治町三〇中村虎造氏方では二十二日長男英夫君が同上

▲三日富士町スケート場にて氷上運動會開催の筈中は都合に依り延期された

▲松島町二中原新氏二女壽子(二一)さんは二十九日死亡

▲三十日總會を開催したカフエー組合の席上役員選擧の結果は組合長松島一夫(マツキン)副組合長八木龍市(コンパル)評議員に吉藤ツネ(ヨシノ)丹野ミヨシ(旅順)田中コメ(清月)と決定した

女の部屋(83)

林芙美子作　一木弴畫

花束(一)

入つて來たのは權力家の副院長で、何時ものやうにやゝ赤らんだ顏を好人物らしい微笑に輝かして大股に近寄つて來た。その後から器具容れの四角な硝子函を捧げた若い看護婦と、體溫器を持つた主任看護婦とが白衣で從つてゐた

——やあ、今朝は寒いですね。どうです？ 昨夜は少しは眠りましたかね？

副院長は兩手を輕く摩擦しながら云つた。

——うつらうつらでしたけど、それでも大分眠つたです。

——それは結構。痛みは？

——大分辛抱しやすくなりました。

——ふつふ。貴方は少し仰山な方だから、動かれると骨の癒着がうまく行かない怖れがあるし、少し眠らしてやらうかと、實は樞に考へてゐた處でしたが……まあ、そんな具合ならいゝでせう。はつはつは……

彼は附添ひの看護婦が取つて渡した體溫表を仔細に眺めてゐたが

——別に異狀はありませんね？

と訊ね乍ら、ベッドの足の方に近づいて紐で天井から吊るした掛蒲團をまくつた。

切開して、骨折の部分を齒車のやうに接ぎ合はして、その上から厚く石膏をかけた右脚が、男にしては白すぎる程美しい肌に濃黑の毛をもじやもじやつけた左足と並んで妙な對照をなしてゐた。石膏で包んだ方の足は更に繃帶の紐に縛りつけられて寢臺に動かない樣にしてあつた。その踵の踝の直下の金の紐金具を內側から外側に結び貫いた金の紐金具は、石膏の足を輸へた鐵の一端に縛びつけられて、常に足がぴんとのびてゐるやうに、強い力で引つぱつてゐた。

氣の弱い者なら男でも直視するのが不氣味なほど、むごい感じのする手術のあとであつた。

——經過は順調らしいですね、兎に角、今日正午前にも一度レントゲンにかけて見ませう。

——はあ……あの……萬一經過がよくなければ臉になるわけでせうか？

——又手術をやり直すまでですよ。

中田はあの燃えつくやうな、心の臟を噛み取られるやうな激痛を思ひ起して、思はず眉を顰めた。

——でもその必要はなさゝうだから安心なさい。化膿さへしなければまあ九分迄大丈夫でせう。

主任看護婦が消毒用の綿を硝子器から取つてわたすのを職業的な無雜作さで受けとつて指先を濡め乍ら、副院長は、眼が床頭臺のバラを見た。

——昨日の夕方此の花を持つて來た娘さんは淑やかさうない人格の人でしたね。

と、十年來の知友のやうなへだてのなさで云つた。

——さう深く知つてる女ぢやないのですけど……

副院長は更に目を丸くして

——それは、それは。……餘り深くも知らぬ娘さんからこんな高價な花束を贈られるとなると、今日はお入つても御馳走になりますかね……。

中田は、揶揄にも具合に無附かずに却て皮肉のつもりであんな事を云つた自分に、腹を立てたのだつたが副院長はさうはとらずに

——毎日二度も三度も電話で容態を訊ねて來る女性があつたのだが、……ですね、え？

學校選擇の指針　昭和九年度・推奬校

博士の嫌疑濃化し 强制的に召喚か
中園の新告白から鳩首協議 あす法院の態度決定

三日午後の公判に於て中園秀雄が兒玉博士を完全に殺人共犯に捲き込み、一大波紋を公判廷に描いたまゝ中園に關する事實審理を終つた、この重大疑問符（對質訊問を參照）を解くためいよ〳〵兒玉博士の證人喚問の必要を生じたものと見られ川畑裁判長は三日公判閉廷後、田中、平井兩陪席判官と博士喚問に就いて重大協議を遂げたが、その結果第二回の證人喚問狀は日曜明けを待ち月曜早朝發せられるものと見られてゐる、或は單なる證人喚問狀ではなく明治四十四年勅令の司法事務共助法第五十二條により、博士居住の所轄檢事局に囑託して令狀を發し强制的召喚を行ふやも知れぬ形勢にあり、興味の渦はクライマックスに達して來た

なほ辯護士側の作戰としては勝美の辯護人大内、田村兩辯護士は法理論として博士喚問に反對意見を有してゐるが、その他の證人即ち安東博士、上野園生、佐藤三千子、馬場ウメ、園部又三郎諸氏の證人申請は月曜の公判廷において行はれ、中園の辯護人長辯護士は當日中園に對し補充訊問の結果博士の證人申請を決定する筈である、なほ公判進行のプランは博士喚問問題が決定するまで未定である

起訴猶豫にしたは檢察局の落度か
短刀を博士に渡した

同廷にかたづを呑んでその成行注目する有樣

即ち、中園は高井檢察官の取調べに對し兇行後階下の廊のついた短刀を博士に渡した事をあくまで否認してゐたが三日午後にいたり川畑裁判長審理に對し短刀を正しく博士に渡したと新事實を打明けた

この事實如何はこの事件における博士の身邊に重大な影響を與へるもので、それを安つぽい中園のとロイックな嘘言が最後において訂正さるゝは意外であると云ふので、激怒した檢察官が「お前は短刀のこの事實を忘れてゐたのか或ひは嘘を云つてゐるのか」と詰問したが、これに對し中園は「かうなれば仕方ない本當は檢察局では嘘を云つてゐた」と圖太く告白したもので、この告白が事實なれば博士を起訴猶豫とした檢察局の重大な手落と見らるべきで、この中園の投じた嘘言は意外の方面に反響をもたらすであらう

證據調べ……裁判長と勝美

中園の事實審理の終了と共に高井檢察官の要求により午後六時より勝美、中園に對する補充訊問が行はれた、最初勝美に對しては兇行當夜における兒玉博士の動きを重點として聽取したのみで引つゞき中園の訊問に移る、俄然法廷は緊張し檢察局における中園の態度の審理結果が公判では午前中否認したものが午後に至つて是認したと云ふ中園の太々しい態度に困を發し高井檢察官の追及物凄く、廷内は一

博士は共犯か 訊問キーポイントへ
〃兒玉は突いたやうでもあり突かないやうでもある〃

三日午後一時十五分開廷、午前に引續き中園秀雄の審理に入る

裁判長 短刀を下宿に持ち歸つてからも青柳、佐藤殺害の意志を繼續してゐたか

中園 ありません、九月四日初めて殺意を起しました

裁判長 しかし八月二日兒玉にバットを見せて殺意をほのめかしてゐるではないか

中園 用意してゐたといふことを博士に知らせたゞけです

共犯裁判長は今までの曖昧な陳述個所を確めるため三、四の補充訊問があり、續いて殺人場面の兇行に入る

裁判長 被告が青柳を刺す前兒玉はどうしてゐた

中園 青柳と揉り合ひをしました

裁判長 被告はどうした、お前が揉ちうするのを兒玉が止めたか

中園 そんなことはありません

裁判長 兒玉がお前から短刀を取らうとしたのはどこか

中園 階下です、私は兒玉に短刀を渡しました、兒玉はその刀を階段に置きました

裁判長 檢察官には渡さぬといつたではないか、なぜ言を左右するか（叱りつける）兒玉が短刀をどう使つたか知らぬか

中園 それは知りません

裁判長 兒玉のどちら手に渡したか

中園 柄を向けて右手に渡しました

裁判長 お前は二ヶ所突き位突いたといふがどうか、青柳の死體には十八ケ所傷がある、あと十四五ケ所は誰が突いたか

中園 兒玉が突いたやうでもあり突かないやうでもあります

と兒玉博士が殺人共犯關係にあるか否かの分岐點に對し中園の右の陳述は非常な重要點となるので裁判長は鋭く突き込んでゆく

裁判長 被告は自分が一切の罪を負ふ氣か、共同でやつたことであれば自分一人で罪を被る必要はない、裁判は公平に裁かれねばならぬ、お前も公平に陳述せよ

中園 私一人で罪を負ふ氣でした

裁判長 兒玉は兇行後「之れで絶望だ」と叫んだか

中園 それは聞きません

裁判長 責任上の問題につき兒玉と話したか

中園 私が一切負ふといふことになりました

裁判長 その時被告は兒玉も青柳を突いたと思つたか

中園 さう思ひました

裁判長 兒玉はお前を昭和の英雄だといつたか

中園 そんなことはいひません

裁判長 青柳の致命傷はどこであつたか知つてゐるか、動脈を立派に切つてゐるぞ

中園 夢中で突いたからどこが致命傷か知りません

裁判長 女中の監視は誰れが命じたか

中園 博士が命じました

裁判長 女中が感付いたらしいから殺して終へとは誰が云つたか

中園 私が申しました

裁判長 青柳の死體はどうして二階へ運んだか

中園 私が足を持つて先へ上り博士が頭を抱へて上りました、そして私が白いシーツを死體にかけました

裁判長 兒玉の着物に血がついてゐたか

中園 全身に飛び血が一ぱいついてゐました、それで博士は着物を着替へました、それから女中殺しの話が出て博士が滿洲チフスの菌を飲ませると三日目に熱が出て四日目頃には死ぬといひました

裁判長 チフス菌はどうして飲ませるのだ

中園 博士のいふにはチヨコレートに菌を注射して女中に喰せるといつてゐました

博士益々不利
〃女中にチフス菌を注射する〃

裁判長 さうするに決定したか

中園 萬一女中が感付いてをればさうする筈でしたが、勝美が感付いてゐないやうだといふので自然中止になりました

いよ〳〵中園の陳述は博士の行動を奇怪なものに決定づけて了ひ、法廷頗に緊張を呈した、この間被告席の勝美は唇を固く噛みしめてヂッと聞いてゐた、次いで審理の進むにつれ滿鮮お駒こと横山キミを殺害せんと企てた新事實が法廷に曝け出された

發覺した方が責任を負ふ

證據湮滅及び死體處置に關しては勝美の陳述と大同小異のものであつたが、青柳の硬直せる死體をズックの袋に詰める時博士は「僕は死體を取扱ひつけてゐるから」と死體の左足を自分の肩に上げ、左足で死體の胴を踏みつけて「く」の字形に曲げて首と足を結びつけ無理矢理に押し込んだ、と物凄い光景を述べた、更に死體詰めトランクを滿鮮お駒の床下へ埋める前中園と博士が埋沒場所につきいろ〳〵頭を惱ました顛末に入り、最初は博士邸の風呂場へ行く廊下の床下へ、又は倉庫内の地下へ埋める計畫であつたが、發覺しさうであつたので今度は旅大道路の溺水寺裏山、競馬場附近、玄海灘と

〃短刀を渡した〃と語つた瞬間　上は高井檢察官　下、中園

報道戰酣は

から檢察局では單獨兇行のやうに云つて置きました、私は果して博士が青柳を突いたかどうかこの點見てはゐないから知りません

裁判長 兒玉の指に傷のあるのはどうした時に受けた傷か？

中園 それは知りませんが、私が博士に短刀を渡す時は柄の方を渡しました、私が一、二ケ所突き刺したと思つた時、博士が「短刀を貸せ」と云はれたのですぐ渡しました

裁判長 兒玉が右足の生爪をはがしてゐたのはどうした時に受けたものか

中園 それは知りません

中園の陳述によつては兒玉博士が短刀を受取つてから後の行動が判明せず、從つて博士が青柳を刺したかどうかも明確でないので、裁判長はこの點を重要視し、前後の模樣を明かにすべく死體が倒れてゐたといふ血染の表座を法廷に搬び、勝美、中園兩名に對して兇行當時の模樣を説明させたが、中園は恐ろしい青柳殺しの場面を手眞似して説明し傍聽者を驚かせる、更に審理は續けられる——

關東の・金選手が 五千に新記錄
滿洲側選手は振はず

【安東特電三日發】全日本氷上競技選手權大會第一日目は引續き三日午後より鴨綠江リンクにおいて續行、午前中の氣溫稍上つて零下五度、風もまた凪いで僅かに北西三メートルといふ絕好のコンデーションとなり、遂に豫想の如く關東金正淵選手五千メートルにおいて從來の諏訪濱間選手の保持する日本記錄九分廿六秒八を十二秒も短縮して九分十四秒八の日本新記錄をつくり邀征チームのために萬丈の氣を吐き李聖德（關東）小池、濱間（諏訪）など續々に內地の選手成績よく、滿洲は僅かに木谷（安東）河村（奉天）兩選手活躍せるのみ、結局關東金正淵選手が一〇六・〇八をもつて第一日の首位を飛し、前年度選手權保持者李聖德選手は一〇七・五六でこれに次ぐ、戰績左の如し

△男子五千米

順位	氏名	記錄
第一位	金正淵（關東）	九分一四秒八（日本新記錄）
第二位	小池富治（諏訪）	九分二一秒三
第三位	濱三勝（諏訪）	九分三六秒二
第四位	濱間留十（諏訪）	九分三七秒三
第五位	李聖德（關東）	九分三九秒六
第六位	尹明珠（朝鮮）	九分四〇秒七
第七位	行田和（諏訪）	九分四三秒九
第八位	安達和男（奉天）	九分四八秒九
第九位	木谷德雄（安東）	九分四九秒八
第十位	崔龍振（關東）	九分五三秒九

經過

期待の石原が棄權したため滿洲側としては木谷、河村と新進安達に望みをかけ李聖德（關東）は先づ林（奉天）と第一組で組み最初より離して進み前半[illegible]選手出でざるため新記錄への[illegible]達成らず、また七組には濱間（諏訪）と河村（奉天）は顏を合はせこれまた期待されしも河村最初より濱間に押されて物にならず、漸く八組において安東大將と組んだ關東金正淵は最初より急ピッチで大將を離しラップ五十六秒乃至五十七秒で滑り遂に日本記錄を十二秒も短縮する大記錄を樹立し（その時風速三メートル）五百メートルにおいて第七位であつたが一躍して第一位となり第一日の首位を占めるにいたつた、河村の不振の後を受けて安達と木谷とが僅かに滿洲のために氣を吐くのみで滿洲側總崩れの感がある

第一日得點順位

順位	氏名	得點
第一位	金正淵（關東）	一〇六・〇八點
第二位	李聖德（關東）	一〇七・五六點
第三位	木谷德雄（安東）	一〇八・二八點
第四位	濱間正見（諏訪）	一〇九・二[illegible]點
第五位	崔龍振（關東）	一〇九・四四點
第六位	安達和男（奉天）	一一〇・二九點
第七位	濱間留十（諏訪）	一一〇・四三點
第八位	河村泰男（奉天）	一一〇・四九點
第九位	尹明珠（朝鮮）	一一〇・五七點
第十位	南洲邦男（奉天）	一一〇・七九點

岡部氏批評

三年目に初めて見た全日本大會の第一日の感想を述べると滿洲の選手が如何に內地選手に比して弱いかといふことである、往年のことを思へば誠に感慨無量である、何のためにかうまで差が出來たかといふなら一口で盡きる、つまり滿洲選手の努力が足りなかつたのだ、これは精神的肉體的兩方ともに云へると思ふ、滿洲では理論がさかんに戰はされた、僕等も理窟をいつた一人であるが今日の戰ひを見たら明瞭であるやうにスケートの議論はもう盡きてゐるのではないか、それ以上の議論はたゞ議論のための議論だ

諏訪や朝鮮の選手たちは僕等がヨーロッパから歸つてから言ひ出した理論的のことをわがものにして戰ひ切り拔つてゐる、滿洲では却てそんなものにとらはれてほんとうの努力をやつてならぬ、二日目の結果がどうなるか判らぬが今日の成績は大體狂はないと思ふ、スケートは「滑ること」と「走ること」の混成した運動である、滿洲には五千メートルを走れる選手がなかつたといひたい、滿洲のことばかり考へてみて批評が悲觀的になつたが日本氷上大會に對して慶賀この上もないのは今日の選手をみてこれなら充分北歐と戰ひ得ることだ、ほんとうに嬉しく思つた金正淵、李聖德、濱間君等の優秀選手は是非共世界選手權大會に送り出したいと思ふ（寫眞は入場式の光景）

灼熱の戀醒めて 泥試合の穢さ
勝美攻勢をとつて 中園タジ〳〵

いろ〳〵協議したが、最後にお君の床下と決定したといふ苦心を語り兇行當日五日夜から死體埋沒の八日までの行動につき詳細な陳述を行つた、勝美の陳述と多少喰ひ違つてゐたが大體一致してゐる、かくて博士と二人でお君の床下へトランクを埋めた後の行動に就き

中園 滿鮮お駒の家で博士と別れる時、私はお駒がこの事を洩らせば事件が發覺するから、いつそのことお駒を殺して自殺しやうと決心し博士にチフス菌を求めればすぐ死ぬかと聞きました、すると博士はすぐ死ぬがそんな詰らぬことはするなといひました、そ—そこの事件が博士の方から發覺すれば博士が責任を負ふ、私の方から判れば私が責任を負ふといふ約束をして別れました

この時裁判長十五分間の休憩を宣し、三時三十分再開、滿鮮お駒の殺害計畫の審理に入る

た

裁判長 兒玉と責任の分擔を約束したのは如何なる譯か

中園 二人で殺したと思つたからです

勝美 中園は兇行後二日目に私に對し夢中でメチヤ〳〵に突いたと申しました

中園 私がメチヤ〳〵に突いたといふ意味ではありません

對質訊問

裁判長は中園勝美を立たせ陳述の食ひ違ひについて對質訊問を試みたところ、兩被告の口は全然合はず水掛論となり、かつては互に熱の戀に身を燃した二人が轟しなくも法廷で泥試合の醜狀を暴露したが、中園のしどろもどろの答辯に對し勝美は簡明な口調で條理整然と答辯した

先づ裁判長は中園に向ひ

裁判長 お前は勝美の初戀の男に化けて勝美を誘惑したのであらう

中園 全然そんなことはありません

勝美 私は騙されました、第一老虎灘へ行く時中園は帽子は被つてゐないと陳述してゐますが、確かに白いフエルトの帽子を深く被り顏を見せぬやうにしてゐました

中園 イヤ私は被つてゐません

勝美 それから私は老虎灘で明日小平島で肌を許すとは申しませぬ、また私から中園にもたれかゝつた覺えもありません

裁判長 もたれかゝつたのは中園だらう

中園 イ、エ勝美さんの方からです

勝美 人違ひでもいゝから會ひませうと申したのは中園が川崎でありながら人違ひといふのを口實に會はないと思つたからです、また小平島へ行くまでは身を許す考へはありませんでした

裁判長 勝美に訊くがネクタイを中園に贈つた理由は？

勝美 實はあのネクタイは佐藤さんと三越へ行つた時佐藤さんから〃中園さんが赤いネクタイ一本より持つてゐないから買つて上げなさい〃といはれて買ひ、いつか會つたとき渡さうと思つてゐましたところ、その後中園が落した書類を渡すとき添へて渡したものです

裁判長 中園は嫉妬の爲め勝美に暴行した覺えはないといふがどうか

勝美 そんなことはありません、私に暴行を加へる時はカフエーダンスホールで青柳の姿を見た時に限つてゐました

兒玉博士を殺人共犯に捲き込んだ中園の陳述を確める爲め裁判長は勝美に兇行當夜の模樣を訊す

裁判長 兒玉の手の傷はどうした時受けたと思ふか

勝美 中園の兇行を制止しようとして受けたと兒玉はいつてゐました

裁判長 兒玉の着物の血はどの程度についてゐたか、又どうして血がついたと思ふか

勝美 着物の血は僅かよりついてゐませんそれは兒玉の指から流れ出る血が着物についたのであります

と極力博士をかばひ、始めて婆らしい態度を明かに示し傍聽席の興味を惹いた、更に勝美は理路整然として中園が女中殺しを話した際憤交して留けば口外する憂ひはないといつたこと、おキミを殺す爲め博士が中園に渡したチフス菌といふのは他の薬であつたこと、中園はそれで自殺する氣は最初からなかつたこと等々を反駁して中園をやり込めた、裁判長は最後に博士の殺人共犯の點を確めるため中園と左の一問一答をした

裁判長 被告が青柳を刺した時兒玉は制止したか

中園 制止しません

裁判長 兇行に援助を與へなかつたか？

中園 援助はしません

裁判長 兇行を二人共同でやつてゐると思つたか

中園 その氣持ちでした

裁判長 兒玉の手の傷はいつ受けたと思ふか

中園 いつ受けたか知りません、傷は歸る時見たゞけです

裁判長 兒玉の着物に多量の血がついてゐたことは本當か

中園 多量の血がついてゐました

問題の核心
「兇行の模樣」 短刀は博士へ
〃博士を庇ふ爲の嘘〃

かくて兩者の對質訊問はお互に泥試合的な供述をなし、中園があゝ云へば勝美が違ひますと打消し、勝美があゝ云へば中園が打消すなど徒らに係官を焦燥せしむるのみ、曾ては愛し合つた兩名が今は見醜く相爭ふ樣な世の慘態を實ふところで中園の如き青柳殺害の理由を問はれてしどろもどろに「夢中で解らなかつた」と答へる位であつたかくて五時一先づ打切りつぎに高井檢察官の補充訊問に移る、檢察官まづ勝美を呼び出し

檢察官 今迄も何度も繰返した事だが第一に九月五日の夜兒玉誠が青柳に摑み掛つたと云ふがどんな工合にか

勝美 兒玉が青柳の肩に兩手をかけてゐました

檢察官 毆つたのか

勝美 毆つたのでなく押しつけた樣な氣がします

檢察官 その時の中園は

勝美 その時は氣がつかなかつた

檢察官 兒玉と中園の青柳との距離は一度に兩方見えたのか

勝美 兒玉の方がよく見えました、私はお[illegible]に居りましたからよく解りました

檢察官 三人がどう云ふ順に下に行つたのは知らないのだね、しかし「何故止める」と云ふ言葉を聞いたと云ふが、それは何處でだ

勝美 二下の方だつたと思ひます、ハツキリ私の耳に殘つてゐるのは「何故止めるか」と「すべてが滅だ」とうめき聲でした

檢察官 その聲のどちらが先か

勝美 「何故止めるか」でした

檢察官 中園が胸のところへ手をやつてすつと突いて行つたのを見たか

勝美 さう見えました

檢察官 ガタ〳〵する音は？

勝美 女中と居る時です下で兇行が濟んでから下へ行つて寢ろと云はれ寢てゐた時でした中園がガタ〳〵いはせたのです

檢察官 女中も知つてゐるか

勝美 大きな音でしたから知つてゐたでせう

檢察官 七日に下宿へ行つた時止めなかつたら下まで汚さずに濟んだのにと云つたさうだね

勝美 エ、間違ひありません

勝美の訊問終了

かくて午後五時半中園の訊問を終つたが三日目の公判はかくて最後に大波瀾を見せた

〃賣店勝美大明神〃

興味のあるのは、何日までこの審理が續くかで辯護士側に云はすと今迄の勝美、中園の陳述では兩者の單なる泥仕合的なものでこんな工合では何處まで引張られるか解らない、中園の事實審理は四日目に延びて證人申請なんて事になれば少くも六日間は掛かるだらう、こんな長引く話をしてゐると法院の賣店の婆さん目を細くして「まあ左樣ですかなるべく長びいて貰ひたいもんですね、お陰さんでこちらへ來て初めて商ひらしいものをしましたよ、何だかカツミさんをおがみたくなりました」

〃趣味ヘシャンコ〃

「被告の趣味は？」中園は趣味とは道樂のことかと聞き返して「自分は煙草と議論が好きです」と述べる、最初の煙草の方は川畑裁判長人情深いところを見せて「煙草でも吸はせてやれ」と十分位休憩をする、ところが議論の方の趣味では、中園も裁判長から一本突込まれペシャンコとなる、卽ち「被告は最初趣味は議論だといつたがそんなつじつまの合はぬことをいつてゐては結局議論にならんぢやないか」流石にこれには參つたらしい

狩獵の話をもちかけると眼の色まで變はる滿鐵地方部金森人事係主任は自宅に飾つた七挺の獵銃を「これだけが財產だ」と奧さんよりも大事にせんばかりの凝りやうだが……。

◇

某日寄り「金森君の[illegible]打は地方部第一だね」と誉めたつもりで云つたところ、金森君横を向いて聞えないふり。

◇

傍にゐた中根社會係主任—氏は金森君の鐵砲の愛弟子だ—師匠の一大事とばかり「いや金森君は滿鐵はおろか滿洲いや日本一だよ」金森君始めてニヤリとして「いやそれほどでもないよ」と鬚を撫でたもんだ。

南蠻彩船 (32)

鈴木氏亨 作
布施長春 畫

石川五右衛門 (二)

「何者だ?」

河内國石川村の五右衛門は、術で敗けた腹癒せに、さう〳〵肝臓玉を破裂させた。

「怒るのは早い。余が神變無想の幻術、まだ其方には解るまい。いま、手の内を見せてやらう!」

月下、依然として、人無きに聲だけが、虚空の中から朗かに響いて來る。

「見せろ!」

五右衛門は、野人の地金をさらけ出した。

後年、石川五右衛門として、大閤秀吉を向ふにまはし、その寢所に忍び込んで、千鳥の香爐を盗まうとした大賊も、南蠻堂坤齋にかゝつては、まるで小兒扱ひだ。

「よろしい。いま汝の前に、京は淸水の影を見せてやらう」

言葉が終るか終らないうちに、京の淸水の影が、繪畫のやうに五右衛門の前に展べられた。

「やあ、絶景!」

彼は夢遊病者のやうに叫んだ。

そしてそこには、大島の社の社殿も、いままで眼界を遮つてゐた鳥居も、天上の月も跡形なく消えて、一幅の活彩圖が、忽然として顯前したのであつた。

だが、それも一瞬——

淸水の影が消え去ると、月の蒼空からは、雨交りの霰が落ちて來て、刺すやうな寒ささへ加つて來たのだつた。

「おゝ寒む!」

五右衛門は、ぶるツと身震ひした。

「どうぢや五右衛門、隠神術や縮地術は秘歩ぢや。天地自然を掌中に入れて、宙宇をぺろりと鵜呑みにする。これが神變無想の幻術の蘊奥ぢや。其方にこの眞似が出來るか!」

依然として姿は見えず、騒しい聲だけがする。

「参つた。それにしてもちと寒過ぎます。早う霰など晴らしてくださらぬか」

五右衛門は一も二もなくへたばつて了つた。

「事實、参つたか」

「参らいでか、この上は貴殿に頼みが御座る。聴き届けてはくれまいか?」

「頼むとは、如何やうなことぢや」

「その前に、この霰を晴らしてくださるまいか?」

「よし〳〵、よう見て居れ」

暗の虚空の中に、掌を打つ音がしたかと思ふと、地を打つ霰の音がはたとやんで、空はもとの皎々たる名月の世界となつた。

五右衛門は、附近を見廻して仰天した。そこには、霰の跡も、雨滴のための地濕りさへ残してゐないのだつた。

「おゝ、不思議、不思議—月は元の通りぢや。して大島の社も、鳥居も何の變りはない」

「五右衛門、神變無想の幻術、ようわかつたか」

「よく、わかりました。どうか姿を現はしてくださいませ」

「何に、姿を現はせ、余は、其方の眼の前にゐるではないか!」

「えつ、眼の前に。左様でございますか、ど、何處でございます?」

「こ、こゝぢや」

「一向見えませぬ」

「見えぬ筈ぢや。わしは五右衛門、其方の體内にゐるのぢや」

「げえつ!」

彼は、自分の耳が破裂でもしたやうに驚いた。

「ど、どうかお許し下されて、わしを弟子にして下さらぬか、お願ひです。お願ひです」

「さらば、弟子にして進はすによつて、汝、余が住居まで、つれて行つてくれまいか」

「へえ——か、し、こ、ま、り、ま、し、た」

滿日柳壇課題

▽題「鏡」「友情」(選)編輯局選
▽締切 二月十日(各題五句、別紙の事)
▽祝 滿洲帝國の祝吟 高須月南選
▽締切 二月十日一人一句(三月一日發表)
▽宛 本社編輯局川柳係宛
▽賞 佳吟に薄謝を呈す

滿洲日報

二月三日發行

發行人　鈴木昇
編輯人　橋本喜代治
印刷人　本村武盛
大連市東公園町卅一番地
發行所　株式會社滿洲日報社

"足利尊氏"禮讃問題で 中島商相窮地に陥る
調査の結果不穩と判明

【東京特電三日發】綱紀問題を一手に引受けて批難を浴びつゝある中島商相に對して例の足利尊氏禮讃論が貴族院において菊池武夫男により近く糾彈されんとし、衆議院では三日の豫算總會で栗野米太郎氏からこれを追究することゝなつたので、政府は堀切翰長の手でその尊氏論を調査したところ、内容は批難すべき點少からず不穩のものだといふことが判明してその對策に少からず惱んでゐる、この記事は中島男が自ら執筆せることは明瞭であるため最早これを否認する餘地なくたゞ不用意をひらあやまりに、あやまるより外ないであらうが、何れにしても責任は免れず商相の立場は益々苦境に陥るとともに政府としても狼狽の極に達してゐる（寫眞は中島商相）

尊氏論は十數年前執筆

【東京三日發國通】綱紀問題に絡んで質問の矢面に立つてゐる中島商相は折も折二月號の某雜誌に逆賊足利尊氏を禮讃するが如き記事を掲載せしため議場喧々として沸騰し、貴族院でも近く菊池武夫男が商相の眞意を質す事になつたが、右の記事は十數年前中島商相が某俳句雜誌のため書いたもので偶々今回某雜誌がこれを轉載したものであるといふ

政治干與問題で 海軍部内に通牒
陸軍側は必要とせず

【東京特電三日發】軍人の政治干與問題に對する議會の追究はいよ〳〵猛烈となり、二日の衆議院豫算總會で政友會の宮脇長吉氏が軍人に賜はりたる勅諭のうち「軍人は政治に關らず」とある字句の解釋についての質問に對し大角海相は明らかに「政治に關係しないといふことだ」と答辯したが、更にこの趣旨を近く海軍部内に徹底せしめ軍人が政治に干與すべからざる旨を訓示して部内の統制維持をはかることを言明した、これに反し、陸軍側では勅諭の文字の解釋は「政治に關係せぬといふことも、政治に拘泥しないといふことも結局同じである」との見地から、今更この解釋について部内に通牒を出すことは好ましくないとしてこれをその儘にしておくことゝなり、海陸軍がその措置について相反する態度を執つてゐることは注目される

衆議院（三日）豫算總會

農村救濟豫算の 削除は遺憾
杉山元治郎氏の質問

【東京三日發國通】三日の衆議院豫算總會は前夜來降りつゞく大雪に議員の集まり悪く午前十時■十分開會す

杉山元治郎氏（第一）農村窮乏の事實を述べた後財政から農村豫算が削られたのは殘念だ、財源を要しない農村對策實行の意思ありや

後藤農相　充分考へてゐる

杉山氏　内政會議の問題たる農地保全問題の外耕作權確立につき意見如何

農相　地主小作人關係の安定のためには努力してゐる

杉山氏　米穀統制法により貧農階級は恩惠に浴するか、米價が上るだけで貧農の利益となるか

農相　影響はそれぞれ異るも全般的に農村の利益となる

杉山氏　統制法を改正して貧農の僅な米も買上げるやうに出來ないか

農相　組合及び金融の關係上むつかしい

杉山氏　蠶糸對策として生產制限をする應急對策ありや、又根本的解決策として全國養蠶家の統一に關する考へなきや

農相　應急對策については折角研究中、根本對策は將來の問題である

次で杉山氏水平社の問題に論及し裁判所が公文書中に特殊部落として差別待遇をした所以如何

小山法相　記錄に依ると特殊部落云々と書いたのは被告側の口述に依つたものだ、然し誤解を起してはいけないから裁判所に注意してある

更に杉山氏治安維持法改正問題に關し合法運動の限界を明示されたいと求め

法相　私有財產制度を根本的に破壞する思想を取締るのみで個々の改革を論議するものは對象とはしない

次いで農村對策と國防との關係につき杉山氏と海陸兩相との間に問答あり、杉山氏は大阪のゴー・ストップ事件を例として憲兵、軍人の越權沙汰を非難し軍民離間運動につき軍部の自重を希望す

杉山元治郎氏

八年度追加豫算
二日衆議院に提出

【東京三日發國通】政府は二日衆議院に左の如く昭和八年度追加豫算を提出した（單位圓）

一般會計歲入經常部

■臨時部前年度剩餘金繰入	一〇八九、二四八
	八四八、〇六一
計	一九三七、三〇九
同歲出經常部司法省所管	一七一五、七七四
■臨時部外務省所管	二二一、五三五
計	一九三七、三〇九

床次氏の投じた 政黨連繫の一石
鈴木床次兩派對立

【東京三日發國通】床次竹二郎氏の投じた政黨連携の一石は黨の内外に衝動を與へ最近床次氏中心の種々の勢力糾合せんとする傾向があるので、鈴木總裁、鳩山文相等はいたく刺戟し、右は■■排擊の陰謀となし策動し昨夜も鳩山派はステーションホテルに會合し鈴木氏擁立の二日會員七十三名も昨夜同所に會合し、十日夜は安藤正純氏、十四日夜は鳩山氏■の幹部招待會開催される豫定で、これに對し床次派は快よからず早くも黨内對立形勢を生ずるに至つた

豫算分科主査

【東京二日發國通】下院豫算分科主査は二日豫算總會で左の通り決定した

第一分科	寺田市正
第二分科	匹田鋭吉
第三分科	倉元要一
第四分科	八田宗吉
第五分科	青木精一
第六分科	武田德三郎

學良、剿匪副司令の 就任を辭退す
舊東北軍に重大關係

【天津三日發國通】確聞するに學良は安徽、湖北、河南三省剿匪副司令就任を辭退した、なほ中央側の出やう如何では心境の變化を戲るやも測り難きも、學良の三省剿匪副司令辭退は舊東北軍の運命にも重大關係あり、その成行注目されてゐる

市立中學と 學務委員の希望
實業學校化には反對

大連市學務委員會は三日午前十一時半より市役所委員室にて開會、岡野助役、高塚、山口、一宮、森川、丸山、岡、■■、重松各委員出席し市理事者より大連市立中學校學則案、同新設經常費年度別表、同初年度經常費豫算並に同臨時費豫算を詳細説明して諮問したところ■■■校化を加味せず純然たる中學を建設されたしとの意見を述べて原案を承認した、因に初年度經常費豫算は五萬一千四百六十圓にして臨時費豫算概算左の如し（單位圓）

一、設備費　一八、〇〇〇（初年度一萬圓、二年度五千圓、三年度五千圓、四年度八千圓）

二、校舍建築費　三五〇、〇〇〇（初年度十五萬圓、二年度十萬圓、三年度十萬圓）

而して右工事は市債として昭和九年度に十五萬圓、十年度並に十一年度に各十萬圓を年利六分にて簡易保險より借入れ、元金は昭和十二年三月末日まで据置き元利均等償還の方法により昭和十二年度より二十六年度まで毎年度三萬六千三十六■を償還することゝし、尚据置期間中の利息は借入の時期により確定しないが約三萬三千圓を要することになつてゐる

同志倶樂部の 市政意見交換

大連市會同志倶樂部においては二日市役所に會合して市政上の意見交換をなし各部門毎に委員を定めてこれが研究と具體化を期することを申合せたが、就中注目されるのは學務課新設と技師任用にしてこれらについては市當局も必要を痛感し賛意を表してゐるので近く具體化するであらう、また同志倶樂部においては桃源臺並に沙河口兩火葬場の改善には贊成なるも假に中學新設により市豫算が膨脹した際には市の財政的見地より十萬圓を要する火葬場改善を昭和十年度に繰延ぶべく方針を定めたが、これまた市會他派の支持を受く市理事者の追隨を見るであらう

黑河發砲事件
一先づ解決

【チチハル二日發國通】三十一日黑河において現理■■警務局長のボーイ某が發作的症狀を呈しピストルを以てソ聯領事館ウーソフ書記生に重傷を負はせた事件は、時節柄黑河の人心に一大ショックを與へたると共に事件の成行重大視されたが、滿洲國側において遺憾の意を表明し一應地方的に解決を告げた旨今朝當地某所に情報があつた、なほ在黑河蘇聯官憲は事件を詳細中央に報告し指令を待ちつゝある模樣であるから、政府の指令到着次第日を改めて抗議を提出されるものと見られて居る

■軍人後援會員割引　帝國軍人後援會では三月十八日東京で總會を開くが出席會員に對しては汽車賃の割引證を交附するので市役所内後援會大連地方委員部（電話■〇〇四番）に申込まれたいと

人

▲御厨信市氏（關東■外事課長）三日新任挨拶のため各方面歷訪

▲森本勝巳氏（關東■警務課長）三日午前七時着列■で歸連

うすりい丸　四日午■十一時大連港外着の豫定

議會の滿洲問題論戰
有無相通ずるやう 産業建設を進める
拓相の日滿提携方針

一月二十九日衆議院豫算總會において委員加藤久米四郎氏（政友）と關係各大臣との間に行はれた滿洲關係諸問題に關する質問應答

加藤委員　私は日滿兩國間に於きまする經濟問題、これに關聯致しまして、各種の問題につきまして質問致したいと思ふのであります、日滿兩國間の經濟問題に關しまして、わが軍部と拓務省當局者が、それ〴〵非常に御努力に相成つて居りまするここは御に感謝するのであります、拓務大臣は、日滿兩國間の經濟■■■■に關しまして特に言葉までも御改めになつて日滿統制經濟では宜しくない、日滿經濟提携であるとまで言はれて居りまするが、勿論日滿兩國は儼乎たる獨立國であります大國家間の問題として、外交上の辭令その他の御考へであつての用語であると私は承知して居るのであります、而して日滿兩國間における經■■融合を、統制といふ言葉を用ひましても、或は「ブロック」といふ言葉を用ひましても、或は又提携といふ言葉を用ひましても、要するに學者の專門的な「テクニツク」と致しましては、それ〴〵相當な理由がございませうけれども結論を■む吾々の政治的見解に至りましては、毫もその間に差等を設ける必要はないと思ひまするから、私は經濟統制といふ言葉を分り易く、世間普通の用語に從ひまして此處で申上げまして、さうして所見を伺ひたいと思ふのであります、拓務大臣に伺ひまするが、日滿統制經濟に關しまして御意見と御方針を承はりたいのであります

永井拓相　日滿經濟の間においきましては、出來るだけ有無相通じ得るやうに互の產業建設を進めて行きたいと考へまして、その方針で、滿洲國政府に對しましても理解を求めるやうに努力致して居るのであります、勿論御存じの通りに、國防に關しましては、日滿兩國が協力することになつて居るのみならず、滿洲國におきましては、國防產業に必要なる原料を生產し得るのでありますので、國防關係の重要產業の中、滿洲國で經營せられて居るものもありますが大體におきまして滿洲國は原料、燃料といふが如きものを多く生產する可能性を有つて居りまするし日本は加工業において進歩して居るのでありまするから、さういふやうな關係におきましても、成るべく兩者の間において有無相通じ得るやうな方針で兩國の產業提携を致したいと存じて居るのでございます

加藤委員　私は質問を進めて行きまする順序と致しまして大藏大臣に御伺ひ致しまするが日滿兩國間の經濟提携は、何ならしめても、指導もする上において、日本の現在の農業に、惡影響を出來る限り與へないやうにして貰ひたいといふことが希望であります、滿洲の將來の色々なる情勢をも考へまして、我國の農業の現に生產されて居るものに、何か變化を加へて行く必要があるといふことは私或は考究の必要があることであることは思つて居りますけれども、農業生產は他の工業などゝ違ひまして、直に止めるとか、變化させるなどゝいふことは困難であります、慎重な考究を遂げた上で、我國の農村に惡影響を與へないやうな方法で、國策を執るやうな事を考へて行かなければならぬと思つて居ります

加藤委員　陸軍大臣に御伺ひ致しますが、滿洲事件が突發致しましてから今日まで治安が漸次恢復致しまして、土匪馬賊なども次第に平定せられて居るのでありまして、三千萬民衆は漸くその堵に安んじて、さうしてその業に就くことが出來るといふことに相成つて、對滿政策も着々と遂行致して參りました三月一日には帝制も布かれることに相成つて來ました、斯くして東軍の力に依つて滿洲國が發達して參りましたことに對しまして、厚く感謝と敬意を表する者であります、併しこの際私は陸軍大臣に御伺ひ致したいのでありますが、滿洲事件を一段落として、區切りを付けて、今後平和工作に入る御考へはありませぬか

林陸相　只今の滿洲の事情では、今直に決することは困難でございます、併し將來は無論さういふ風に考へるのであります

加藤委員　總理大臣に御伺ひ致しますが、日滿統制經濟につきまして大體の御方針を、簡單で宜しうございますから、御伺ひ致して置きたいと思ひます

齋藤首相　只今この問題につきましては折角審議中でありまして、先般より各大臣が申述べました方針に依りまして、關係各省の首腦者がそれ〴〵意見を有つて會同致しまして、今此處で折角取纏め中であります、今此處でまだどうといふことを發表することは出來ませぬが、何れも先般各大臣より申上げた心持で進みつゝあります

加藤委員　（前略）差措いても兩■間における關稅問題の解決が先決問題であらうと思ひます、隨つて日滿兩國間に關稅の同盟、或は特惠關稅を設けるといふやうな御考へがありまするか、又その御準備がありますか

高橋藏相　今日の所では私はまだ何等考へて居りませぬ

加藤委員　多分さうであらうと私も豫想して伺つたのであります、商工大臣に伺ひます、商工省において、我國一般產業につきまして、日滿統制經濟を目標として、どういふ統制と合理化をせられましたか、又是からせられやうとされまするか、その具體的御計畫を承ります

中島商相　まだ具體的計畫として申上げるものも有つて居りませぬが、大體方針としては斯ういふ風に致したいと存じて居ります、例へば滿洲國人、又は現に滿洲において更に何等か滿洲に事業を企てまする場合においては、出來得る限りその事業と聯絡を持たしむべく、内地の同業者にそれ等の計畫に對して投資を致さしめたい、即ち■地の同業者と、滿洲における企業者との間に、相互てある■■的の聯絡を初めから持ちまして、終始兩國間の經濟統制上に支障扞格のないやうに致さしめたい斯の如くにして内外相俟つて日滿兩國間の經濟統制が行はれるやうに致したいと申すのが私の希望でございます

加藤委員　農林大臣に伺ひますが、同じく日滿統制經濟を目標として、我國の農產物の生產と分配に關しまして、御計畫に相成りましたことがありますか或はされやうとすることがありますか、されることの必要なしと認められますか、之れを伺ひます

後藤農相　今日まで具體的に計畫を致したものはございませぬ併しこの點については色々考究を要すると考へて居ります、將來必要はないと限ふかどうかといふ御考へでは、滿洲における今後の農業經營の發展を、我國が色々援助もし、指導もする上において、日本の現在の農業に、惡影響を出來る限り與へないやうにして貰ひたい……

勇士の遺骨
四日午前七時着驛 同十時香港丸で出發

議會スナップ

議會うらおもて　春川卓二

1、高橋藏相衆議院本會議で答辯に四十分を費すといふ熱辯ぶりです。

2、陸軍人キヤラメルのバラを手の平にのせて「この通り縮をすてゝ來ましたからどうか……」守衛「ぢいさん、向ふで食べて來なさい」一箱分ほゝばる譯にも行かず、ぢいさん慨めしげです。

3、代議士控室、こゝも正に非常時、ウーム〳〵と唸る、その當人は勿論、岡目までもむづかしい顏してすつかり考へ込んでゐます。

歐洲行郵便物 徑路問題
萬國會議に提出

【上海二日發國通】支那よりシベリア經由歐洲向け郵便物は滿洲國成立以來一切滿洲國經由を避けて態々日本經由させるため、從來に比し非常に多くの日數を要し、特に外人側の蒙る損害甚大しかつたが、今回■■地外人教會では近くカイロに開かれる萬國郵便會議に本件を提出し解決を諮ることに決した

國際會議費 廿二萬一千餘圓

【東京三日發國通】政府より三日衆議院に提出した八年度追加豫算中、外務省所管二十二萬一千五百三十五圓は二月及び三月に要する日印會商及ジユネーヴにおける軍縮會議の經費である

生活の虹（33）
菊池寬作　志村立美畫

怪我（二）

「いや、僕の不注意ですよ。僕こそ、すみません」

骨の髓を傳つて肩のあたり迄來る痛さを、漲ぐみさうになつてゐる綾子に悟られまいとして、子爵は手早く手巾で掃を掩ふた。

「まあ。私、どうしたら、いゝでせう」

少女心の一途に、やるせなさうな當惑であつた。

「僕は、いつもそゝつかしいものだから」

「いゝえ。私が、いけないんですわ。あの二階に外科醫が、ございますから、そこへいらつしやいませんか」

「さうしませうか」

綾子は、蒼ざめた顏を伏せて、も、何となくうれしかつた。肉體的な痛みは、それ以上の精神的な歡びを伴つてゐた。

「私、エレヴエーターを誰かに替つて貰つて、すぐ參りますから」

さう云つて、綾子は引き返しかけた。

「それには及びませんよ。ほんとうに、たいした傷ぢやないんですから」

子爵が、背後から呼び止めるのも聞かず、綾子は走り去つてしまつた。

醫者は、開業間もないと云つたやうな若い醫者だつた。

「何でなさいました」

「一寸指を怪我したのですが」

「エレヴエーターのたゝみ扉に、ステッキがからまつたので……」

「ほう……そんな事がありますかな。よつぼど、亂暴なエレヴエーターガールですな」

と、醫者が云つた。子爵は、あはてゝ綾子を辯護した。

「いゝえ。僕が、そゝつかしいのです」

「とにかく拜見しませう」

子爵は、手巾をとりさつて、醫者に見せた。

「ほう。中指が、やられてゐるんです。これは、相當痛むでせう」

オキシフルをガーゼにはませて血を拭きとつてくれながら

「大した事はありませんが、骨を打つてゐるらしいから、二三日痛むかも知れませんよ」

と、云つた。子爵は、傷がもつともつと大きくあつてくれゝばいゝとさへ思つた。

エレヴエーターのハンドルを握つた。

三階で待つてゐる客があるのにもかまはず、綾子は素通りして、二階へまで動かした。

「右側の廊下で、ございますわ。私、御案内致しますわ」

綾子は、床へ降りると、先きに立つて歩かうとした。

「いゝですよ。いゝですよ。僕一人で行けますよ。あなたは仕事をしてゐて下さい」

「いゝえ。いゝですわ」

綾子は、先に立つて右の廊下へ曲ると、佐久間外科と看板の出てゐる部屋の前に立つた。

「ありがたう」

子爵は、綾子のエレヴエーターで怪我をしたことが、寧しいよりも……

蛇角

◇スピード日本の船長さんがスローモーション内閣とは。

◇尤もこの船長、たゞ上甲板で手足をバタ〳〵やつて居るばかり。

◇船は、船員たる多數國民の力で動いて居る、さ。

◇綱紀で惱まされる中島商相、今度は足利尊氏の亡靈に惱かる。

◇五・一五事件の民間判決、輕罪の批評は矢張り御遠慮申上げる。

◇中國の趣味は辻褄合はぬ議論、日比谷人種の趣味に似たる哉。

◇兒玉博士、いよ〳〵滿洲チフス保菌者の疑ひ。

◇風邪菌が豆を打ちたり塾の窓。

號外發行　三日五・一五事件民間側被告に對する判決を號外として報道しました

博士の言動に深まり行く新疑問符

中園の陳述に法廷俄然緊張

兒玉事件公判第三日

勝美の供述をガラリと覆へした中園の陳述は、いづれが眞か僞か、興味をつなぎ、明けて公判三日目引續き中園の殺人豫備の點より事實審理が續行される、重々しい空氣が緊張した廷內に漂ひ何となく風雲をはらんだ形だ、勝美と中園の供述の食ひ違ひ、更に勝美にとつて不利な新事實、中園の見え透いた嘘言、等々幾多の疑問符が次から次へ投げ掛けられた、中園の陳述が果して眞實なれば兒玉博士にとつては拔差しならぬ重大な新事實を提供した事になり法廷內は俄然ザワめいた、卽ち昨年七月、中園は聖德街一丁目兒玉博士宅を訪問して初對面の挨拶を交すと共に瞬のうちに勝美との關係を打明け同時に青柳殺害の意思あることを述べ「その用意のつもりでバットをお宅にあづけてゐる」と博士と共に臺所の戶棚の中のバットを見てその決心の程を告白したのであつた、この供述が事實なれば博士は當然その當時よりあゝした慘劇が惹起する事は豫想されたところで、萬一さうであれば博士も當然責任の一端を負はねばならぬと見られ、この一事に徵しても博士喚問は當然行はれるべきものと見られてゐる、更に中園の審理の進展につれて幾多の新事實が現れるのを豫想するに難くないが、いよ〳〵法のメスは冴えて急所々々を鋭く抉つて行く

情痴地獄桃色行狀記

嫉妬に燃えて勝美虐待

勝美の陳述と正反對の陳述を行ひ俄然法廷の注目を惹いてゐる中園秀雄にかゝる事實審理は三日午前九時三十分から大連地方法院川畑裁判長かゝり開廷、被告兩名は前日と同じ服裝で出廷した、裁判長は前日腦貧血を起した中園に對して「氣分はどうだ、立つて審理が受けられるか」と優しく問ひ中園は裁判長の前に起立した、先づ殺人豫備及び傷害の點から審理に入る、中園が勝美の姙娠を聞いて青柳の子供と思ひ嫉妬の焔を燃やして勝美を責め拔いた情痴地獄の場面――

裁判長 被告は盲腸炎で七年五月五日赤十字病院へ入院しその間もお腹の子供は誰の種だと勝美を責めて虐待してゐるがどうか

中園 そんなことはありません、三等病室でしたから人が大勢ゐて虐待など出來ません

裁判長 誰の子供かを疑つて岩尾病院で診察させてゐるではないか、被告は兒玉の胤か、青柳の胤か、どちらだと思つた?

中園 兒玉さんの胤だと思ひました

裁判長 けれど被告は兒玉との七年間の夫婦生活に一回も姙娠したことがないのに出來たのは怪しいと思ひ、再度診察させてゐるではないか、そして勝美に每日暴行を加へてゐたといふがこの點はどうか

中園 暴行しましたが、何んの理由もありません（言葉を濁す）

裁判長 其後勝美から青柳との關係を打明けられたといふ點は?

中園 相違ありません、青柳が勝美さんから三圓、五圓と無心されてゐるといふ事も聞きました

裁判長 被告は勝美に對し金錢の請求と絶交するといふ電話を青柳にかけさせたか

中園 三回位かけさせました、私も青柳に對し人妻を誘拐するなといつて掛けました

と醜い三角關係に激しい嫉妬を感じ嫉妬の鬼を演じたことをぶちまけると、傍聽席にある青柳貢の實弟克巳君が深い溜息を吐く

裁判長 それで被告は佐藤三輪子を恨んだといふが……

中園 そうです、元を云へば佐藤が勝美に青柳を紹介したからと思ひまして……

裁判長 佐藤は被告に對し勝美さんは貴男以外の男には紹介せぬ早く會はねば他の男に取られますよ、といつたといふがどうか

これに對し中園は「そんなことはありません」と否認したが有閑マダムの間に行はれてゐる「若い男を取引する」といつた桃色行狀記が法廷に曝け出された、これより中園が佐藤、青柳兩名の殺害を企てた審理に入る

バットと短刀とで

青柳、佐藤殺害の計畫

嫉妬に燃ゆる中園が佐藤、青柳を殺害し勝美の姙娠を流產させようと打つた芝居は慄然を覺える恐ろしい謀みであつた――

裁判長 被告は青柳、佐藤殺害の目的で博士邸に短刀とバットを用意したといふがどうか

中園 殺す氣ではありません、單に青柳を脅す心算でした（殺意を極力否認する）佐藤には何んとも思つてゐませんでした

裁判長 檢察官には三回に亘つて供述してゐる、勝美を責めると同時に二人を殺すことを……

中園 そうです

裁判長 いまどうして否認した?

中園 最初の氣持ちを申上げたので殺す氣になつたのは七年七月末頃です

裁判長 この事を勝美に話したか、そうしたら勝美は何んと云つたか

中園 默つてゐました

裁判長 イザといふ場合はどうして殺す心算であつた、兇行準備といつたものを述べよ

中園 押入れに隱してある短刀を勝美が持つて來て座蒲團の下へ入れる、バットは蓄音機の陰の下へ置く手はずになつてゐました、そして私が坐る位置まで定めて置きました

裁判長 被告が一時に兇器二つを使ふことが出來ぬが勝美がバットを振ることになつてゐたのではないか

中園 違ひます、私が最初バットで撲り、次に短刀で刺す考へでした

裁判長 それは青柳の場合で佐藤の場合は?

中園 バットで撲る氣でした

裁判長 殺す氣か?

中園 出樣によつては殺す氣でした

裁判長 二人をおびき出すには…

中園 先づ佐藤を呼び寄せ佐藤から青柳をおびき出す計畫でした

裁判長 どちらを先に殺す氣であつたか

中園 そんな考へはありません、二人共出樣によつて殺す心算でしたから

裁判長 七年六月中旬、勝美は被告が嫉妬の餘り虐待するので自殺を企てたといふがどうか

中園 自殺の理由は知りません、私は狂言と思ひました

裁判長 青柳との關係を兒玉に告白せよと勝美に強ひたといふが……

中園 そうです、告白して更生したいと當時勝美が云つてゐましたから

裁判長 告白すれば兒玉と離別する、そうしたら僕と晴れて夫婦になれると云つたか

中園 云ひません

裁判長 勝美は兒玉が姦通罪で訴へた場合青柳と法廷に立つは嫌だが被告と立つならいゝと云つたといふがどうか

中園 云ひました、私も勝美と結婚したい氣はありました

裁判長 それで結局青柳と佐藤を呼び出したか

中園 それは中止しました、七月三十日頃短刀を博士邸から持つて歸りました

裁判長 其後も被告は勝美の姙娠は青柳の子供だと思ひ暴行を加へてゐたではないか

かくて嫉妬に燃ゆる中園が流產させるべく勝美を虐め拔く點に審理は進んで行く

撲つたから早產したと告白

勝美虐待の模樣陳述

裁判長 被告は下宿先美濃町關又次郎方二階で勝美に暴行を加へ早產させたといふがどうか

中園 そんなことはありません、その日は酒を飲んでゐたので亢奮しました（頗る曖昧な答辯に笑聲起る）

裁判長 お腹の子供が憎くて、因果の子を流すべく高い所から飛び降りよと勝美に命令したではないか

中園 因果の子といふことは勝美が云つてゐたので高い所から飛べと私が云つたのです

裁判長 青柳の子供だと疑つてゐるからであらう

中園 私は疑つてゐません、勝美さんが私の氣持ちを誤解してゐたのです

裁判長 勝美の腹を撲つて傷を負はせたのはどういふ考へであつたか、流產させる目的であつたのであらう

中園 そんなことはありません

と極力防禦の點を否認すると裁判長は「お前は口と腹が違ふ眞實のことを述べよ」ときめつける

中園 早產した通知は七月三十日受けました

裁判長 どうして早產したと思つたか

中園 撲つたからだと思ひました

裁判長 目的を達したと思つたか

中園 イ、エ、無意識に撲つたのですから

裁判長 被告は勝美が入院中、青柳との關係を兒玉に會つて暴露したといふが當時の模樣を詳しく述べよ

中園 それは勝美が自分では夫に告白出來ぬといつたからです

中園と兒玉博士が會見した時の陳述によつて博士に對する新しい疑問符が又現れいよ〳〵博士喚問の必要を有力ならしめた

"何分賴む"とは

青柳を殺す事です

眞か僞か博士の言葉

裁判長 被告は兒玉を訪れた時兒玉の前でワーッと泣き崩れ「勝美は取返しのつかぬ事をした」と叫び大芝居を打つたといふがどうか

中園 そんなことはありません（さゝら笑ひ）私が博士を訪れたのは十時ごろでした、そして博士に勝美さんとは十年前の知合ひですが、青柳といふ不良少年に強姦され每日金を捲き上げられ困つてゐる、それで私は青柳を殺して勝美を救ふべくこの通りバットを用意してゐるといつてバットを見せました、すると博士は『何分賴む』と云ひました

裁判長 兒玉が賴むといつたのはどういふ意味か

中園 勿論青柳を殺すことです

と意外な中園の陳述に公判廷はざわめき、いよ〳〵博士の共犯說を裏書するかのやうだ

裁判長 青柳を殺す決意をしたのは何時頃か

中園 九月四日です、勝美が私の下宿に來たのでそれを話しました、すると勝美も「やり損ずると大變だからしつかりやつて呉れ」と申しました

博士と格鬪する青柳を夢中で短刀で刺した

兒玉邸の慘劇を詳述

かくて裁判長の訊問はいよ〳〵深みに進んで中園が青柳を伴ひ聖德街一丁目の兒玉博士邸を訪れる

裁判長 何時頃だ、誰が出て來た

中園 九時半頃でした兒玉博士と女中と勝美の三人が玄關に現はれました

裁判長 どう云つて挨拶をした

中園 これが青柳ですと兒玉に云ひましたが或ひはその時前に云つた事があるから知つてゐたと思ひます、下がよいか上がよいかと云つたら階上の方がよからうと答へました、勝美は二階に上つて片附けてゐました、その內に自分は女中部屋に飛び込んで葡萄酒を二杯グッと飲みました、それから一番後から二階に上りました

裁判長 どう坐つた

中園 兒玉は床の間に、青柳は三疊の方に、兒玉と向き合つて私が坐りました、しばらくしたら勝美が上つて來ました

裁判長 青柳に何とか云つたらう

中園 暑いから上衣を脫ぎ給へと云つて自分も脫ぎました、その時短刀は上衣のポケットに入れておきました

裁判長 上衣はどこにおいた

中園 青柳の右側におきました、それから青柳に今云つた事を云へと申しましたら馬車の上でしやべつた事を再び博士の前で繰り返しました

裁判長 その時は兒玉博士も勝美もお前があゝした事を惹起する事は知つてゐたかね

中園 ハッキリは知らないが多分解つてゐたでせう

裁判長 それから具體的に云へ

中園 青柳は馬車の上でした事を細く例へば野菜屋がどうの呉服屋がどうのと申しましたら兒玉が机を叩いて激怒し勝美は大聲で憤慨してゐました、そのうちに兒玉博士は冷血動物だと云つて中腰になつて掛つて行きました、丁度兩手で摑む樣な恰好でした

裁判長 その時お前はどうした

中園 カッとして洋服の上衣から思はず短刀をとるとたしか青柳の右側橫腹の邊りをグサと刺しました、短刀をどう持つてゐたかも解らない程瞬間的な時間でした

裁判長 それから

中園 すると尚三疊の間で兒玉博士と取組んで居るので中に入つて前からグサリと刺しました、すると青柳は逃げ出し下に落ちる樣にして行つたんです、私もすぐ後から階下に降りると玄關のところへ殆ど死んで大の字に仰向けになつてゐました、それ以後はボッとして記憶はないが確か二回程突いたと思ひます

裁判長 兒玉博士はその時どうしてゐた

中園 兒玉は來てすぐ二階に上つて行つた樣でした

裁判長 兒玉は來た時何處に立つてゐた

中園 八疊のところでした

裁判長 兒玉は突かなかつたか?

中園 突きませんでした

裁判長 悲鳴は聞えなかつたか

中園 聞えませんでした、兒玉が大丈夫かといふから自分は大丈夫だと申しました、死んだといふ意味です

裁判長 二階に行つた時は短刀を持つて行つたか

中園 その邊は一切解らずに持つて行きました

裁判長 兒玉は傍觀してゐたか

中園 知りませんでした

裁判長 上で止めなかつたら下まで汚れず濟んだと云つたか

中園 云ひました

裁判長 お前が刺した時博士は知つてゐたと思ふか

中園 最初は知らなかつたでせう

裁判長 途中でやるつもりだつたのか

中園 途中でやつてゐたら皆に迷惑掛けずに濟んだと云ひました

裁判長 上衣のアツイと云ふ意味は地が厚くて刺せないの意味か

中園 違ひます、暑いと云ふ意味です

裁判長 檢察官には兒玉に手をかけさせると云つたと云ふが本當か

中園 間違ひでした、責任を免がれようとした爲です

裁判長 二階に上る時刀の柄にリンネルを卷いてゐたさうだが前から卷いて殺す準備をしてゐたのか

中園 持ちやすくする爲でした

裁判長 リンネルをとつて非常によく鍛いたと短刀を賞めたと云ふが

中園 一切何も云ひません、三尺前に刀を置いてアグラをかいてボッとしてゐました

裁判長 傷は二階で二ケ所下で二ケ所といつてゐるが本當は十八ケ所の傷があるが

中園 記憶ありません

裁判長はこの時死體の見取圖を示せば中園は不審そうに「そんなにメチャクチャにやつた覺えはない」と答へる、かくて午前中は殺人豫備傷害並に兒玉邸の慘劇の場面までの事實審理で午前十一時五十分一ト先づ休憩

博士喚問が疑問の解決

その他の證人も申請

中園秀雄の事實審理終了に近づくにつれ關係辯護人團の法廷戰術はいよ〳〵[illegible]して興味を增つてゐる、卽ち三日午後豫定通り中園の審理が終了せば同人の辯護人長によつて兇行當夜の眞相を語る唯一の人物兒玉誠博士の證人喚問の申請が行はれることに決定してゐる、この結果法的疑問の論爭が法廷に展開されるものと見られてゐる、なほ勝美の辯護人大內、田村兩辯護士からは安東研究所長、勝美の友人上野醫生、關部又三郎、佐藤三除子、女中馬場ウメの五名の證人喚問が申請されるものと見られてゐる、兒玉博士の證人申請に對しては藤井檢察官及び大內、田村兩辯護士も反對意見を述べるべく見られてゐるが、法院側では博士によつて當夜の眞相を語らしめるほかはないと見られてゐる、殊に中園と勝美の陳述には隨所に食ひ違ひが生じてゐるのでこの疑問符を解く意味に於ても博士喚問は採用されるとの觀測が多い

傍聽に

青柳克巳君

被害者の弟

肉親の兄を奪はれて悲歎のうちに今日のこの裁きの日を待つてゐた被害者青柳貢の弟克巳君は一家に代つて公判の模樣を見て勝美、中園等の陳述の一言一句も聞き逃さじと第一日より人目をさけて

入廷、傍聽人のうちに交つてひそかに在りし日の兄を偲んでゐたが三日目遂に廊下に佇むところをキャッチする、感想を問へば

皆さんに知られるもいやでしたからなるべく知らない顔をしてゐました、初めの日から來てゐますが何を云つても大事な兄を奪つたもの、公判です、歸つてから老母に法廷の模樣を話すです、勝美、中園を見てしやくにさわらないかつて?さあ御想像に任せますが自分としては妙にさう劇しい感情になりません、たゞこの公判に亡き兄の親友で事件の當時いろ〳〵骨を折つて下さつた安部さんが腸チフスで死ぬか生きるかの境にある事です、私は勝美も中園も初めてです、恐らく兄も中園といふ男は兇行當夜會つた丈でしたらう

（寫眞は克巳君）

鴨綠江の大リンクに氷上の霸を爭ふ

全日本選手權大會始る

【安東特電三日發】昭和九年度の日本氷上王座を決定すべき榮譽の日本氷上聯盟の全日本氷上選手權大會の第一日は三日午前九時より日本氷上界の搖籃の地たる國境安東の鴨綠江鐵橋下の大リンク（一周五百メートル）に於て擧行された、この日前日來の強風凪ぎ西北四メートルの快晴、氣溫零下七度半、定刻遠く內地より馳せ參じた「關東聯盟」「諏訪白鳥倶樂部」選手を先頭に滿洲選手を殿りとして入場役員を前に整列し滿鐵々道工場バンドの君ケ代吹奏裡に國旗揭揚、選手の手で日章旗を揭揚し交野聯盟會長の挨拶、河村滿洲選手の宣誓など型の如くあり續いて新たに下賜された竹田宮賜牌を前年度選手權保持者明大李聖德選手に授與し直に男子五百メートルより競技を開始した、觀衆は早くも大リンクの[illegible]を埋め歡聲湧き上り選手の意氣冲天

新記錄出づ

男子五百米

一位 石原 省三（安東）四七秒八
二位 木谷 德雄（安東）四九秒三
三位 李 聖德（關東）四九秒六
四位 崔 龍振（關東）五〇秒一
五位 三代 正勝（撫順）五〇秒二
六位 湖問 正見（諏訪）五〇秒三
七位 金 正潤（關東）五〇秒六
八位 河村 泰男（奉天）五〇秒八
九位 安達 和男（奉天）、南淵 邦男（奉天）五一秒三
十位 吉野 正滿（撫順）五一秒七

出場申込者四十四名中十三名の多數の不參加者ありしことは甚だ遺憾である、關東の崔、撫順の伊藤と第一組に組んで出たがバックストレットで倒れて問題とならず、撫順石塚、奉天安達第二組に組んで出るもこれまた記錄出ず漸く三組で選手權保持者李撫順三代と組んで第六組において安東石原、奉天橋本と組んで出場、あざやかなフォームで最初よりリードしラストコーナーより猛烈にスパートして出で四七秒八の好記錄をつくる同記錄は同選手の保持する四七秒五の滿洲記錄に及ばないが堂々たる記錄である、期待の河村は諏訪の湖問留十と十四組に組んで出場したが調子惡く八位となり湖問正見もまた惡く六位となる

女子五百米

一位 築瀨暢子（奉天）[illegible]子（奉天）一分零秒五
二位 壹岐[illegible]（安東）一分一秒六
三位 木谷秋子（奉天）、岩田ミ子（撫順）一分二秒六
四位 壹岐イサ（安東）一分二秒七
五位 森田幸子（奉天）一分四秒一
六位 永野和子（奉天）、四方ユキ子（奉天）一分[illegible]三
七位 木下ミツエ（安東）一分五秒
八位 渡邊キヨ子（奉天）一分五秒五
九位 曾根ハタ子（奉天）一分六秒二
十位 平野キミ子（奉天）、山本幸子（安東）一分六秒三

男子に比し出場申込者十九名中僅かに二名の棄權者あるのみ奉天築瀨、安東森田と[illegible]組に組んで出場期待の記錄もバックストレットの向ひ風に出ず奉天木谷も安東壹岐と七組に出て最初より競合ひしも期待の記錄とならず奉天の粉勝、奉天瀧三と十組に組み最初より猛烈に競合ひ好記錄と思はれたがコーナーよりバックストレットに入る頃粉勝つまづいて倒れ遂にレースを放棄す

天氣予報

四日 西の風晴一時曇

各地溫度（三日）

	午前五時	午前十一時
大連	零下八	零下五
旅順	同七	同三
營口	同一四	同七
奉天	同二三	同一〇
新京	同一七	同二
新義州	同一一	同五

今日の小洋相場（十一時半）金百圓につき百十七圓五十五錢

新講談 丹下左膳 (6)

林不忘作
小田富彌畫

發端篇

相模大進坊濡れ燕

せつかく盗み出したこけ猿の壺を、チヨビ安てえ餘計者が飛び出したばつかりに、丹下左膳さいふ化物ざむらひに押へられてしまつた鍛の與吉。

何さいつて、婆娑坂の峠丹波様に言ひわけしたらいいか■

いつまで默つてる譯にもいかないから、ここによつたら、この首は無いものさ、怖なびつくりの與吉には、輕い裏木戸も鍛の鵜の心地……與吉のやつ、司馬道場へやつて來た。

途端に。

出あひ頭に會つた若い植木屋を一眼見るより與の公、イヤ愕いたの何のつて、あたまの素ツてんぺんから、若笛みたいな音を揚げましたれ。

「うわアッ！ あなた様は、や、柳生の、げん、源三郎さまッ――！」

こいつあ驚かずにはゐられない。これから起つた、あの深夜の亂陣です。與吉の口から、柳生源三郎を知つた以上、最早捨てゝは置けない。峠丹波、今宵こゝで、伊賀の暴れン坊に斬られて死ぬ氣で、立ち向ひました。

「源三郎どの、斬られに参りました」

「まあ、ソ、ソ、さう早くから、諦めるにも及ぶまい」

法被姿の源三、庭石に腰かけて含み笑ひ……兼手です。

雁の降るやうな晩でした。

これより先、伊賀の若殿に刄向ふ者は、一人しかない。それは、もうびさりの源三郎が現れねばならぬ――さいふ丹波の言葉に、與吉はふツさ思ひづいて、こつそり屋敷を抜け出るが早いか、夜道を一散走り。

吾妻橋下の浮家の小屋へ。

かの、隻眼片腕の妖、丹下左膳を迎ひに。

思ひきり人が斬られる……さ聞いて、躍り上つてよろこんだのは左膳だ。しばらく人血を浴びないて、腕がうづ／＼してゐるさころへ、しかも相手は、■國にさる者ありさ聞いた伊賀の若様、柳生源三■！

「イヤ、面白えことになつたぞ」

相模大進坊、濡れ燕の業刀を、一つきりない左腕に握つた丹下左膳、與吉の騒ぎ立てるまゝ辻駕籠に打ち乗つて――

ホイ、駕籠！ホイ！

締棒に躍る提灯……まつしぐらに婆娑坂へ驅つけました。この時の左膳は、■■なんか何うでもよい。たゞ柳生流第一の使ひ手さ、一度刄を合はせてみたいさいふ、熱火のやうな慾望に驅られて。

行つてみるさ、おどろいた！

丹波さ源三郎は、また二本の據のやうに、向かひ合つて立つたまゝだ。丹波は青眼、源三郎は無手、さ―すつかり氣■されて、峠丹波、根が盡き果てたものか、朽木が倒れるやうに、掌ツさ地にのけ反つてしまつた。

刀痕の影を瑠ませて、ニツさ■笑つた左膳。

「なか／＼やるのう。代り合つておれが相手だ」

勿論、何の恨みもない。斬りつ斬られつすべき仔細は、すこしも無いのだ。只、劍を執る身の、止むにやまれぬ興味だけで。左膳さ源三■こゝに初めて眞劍の手合せ――まるで雄雞■■の■■のやうに。

源三郎は、意識を失つた丹波の手から、その一刀を捥ぎ取つて、柳生流獨特の下段の構へ。

丹波の身體は、與吉が庭内へ擔ぎ込んだ。

この騒動に、お庭を汚さず猿猴者さばかり、不知火の門弟一同、抜き連れて二人を圍む。名人同士の至妙な立合ひを、妨げられた怒りも手傳ひ、左膳さ源三郎、今度は力を合はせて、この司馬道場の連中を斬りまくるこさゝなつた。

丁度この時、奥まつた司馬先生の病間では……。

新世紀

デミル監督作品 常盤座上映

「暴君ネロ」に次ぐセシルBデミル監督の作品であり題名からも一寸コスチユームプレイを思はすが、これはアメリカに於ける學生運動を取扱つたデミルさしては異色のある作品である

物語は或るハイスクールの附近にある仕立屋のハーマンがギヤングの親分ギヤレツトに再三強請され乍らそれを拒んだ爲めに殺される、これを目撃した學生スチーヴが中心になつて犠牲者まで出して苦心の末、ギヤレツトに私刑を加へて遂にギヤングを一掃するまで――

即ち全米に捲き起つた壯快な學生の社會淨化運動をテーマさしたもので、デミル監督は後半得意のモツブ・シインを以てよく學生運動の空氣を描き出し、ギヤレツトを學生が捕へる前後からスピードさ迫力に富む展開を見せギヤレツトを私刑にする場面は手馴れた手法で鮮かに描いてゐる、カメラはデミルの專屬技師ピヴアレル・マーレイが擔當。

名優追悼映畫『嗚呼岡田時彦君』

不世出の名優故岡田時彦の追悼作品は新興キネマで高島順一郎が撮影中だつたが愈々この程完成をみた、題名は「嗚呼岡田時彦君」で故人の代表作たる松竹時代（若者よ何故泣くか、淑女さ髯）新興時代（須磨の仇浪、間貫一、祇園祭、瀧の白糸、新しき天、青春街）等の優秀場面の抜萃ならびにその死の前後、また雪の告別式の状況なども加へて約八〇〇呎に纏め上げたもので、二月早々新興系の常設館に上映される筈

愈よ今明日限り 日活館の「夢みる唇」

日活館における本社後援の名畫「夢みる唇」は去る三十日上映以來完全にフアンを魅惑し好評を博し連夜盛況を續けてゐるが、いよ／＼三、四日の二日間限りであるからこの機を逸せず本紙綴込優待割引券を利用してベルクナールが一世一代の至藝を示す名畫「夢みる唇」を觀賞されたい

名畫「夢みる唇」觀賞會
讀者優待割引券
この券持参者階上六十錢階下四十錢
後援 滿洲日報社

名畫「夢みる唇」觀賞會
讀者優待割引券
この券持参者階上六十錢階下四十錢
後援 滿洲日報社

満洲日報
朝夕刊共十二頁
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武盛
發行所 大連市東公園町 満洲日報社

"尊氏に傾倒"する中島商相に詰寄る

栗原彦三郎君質問

二日の衆議院豫算總會

日衆議院豫算總會に於て■■の栗原彦三郎氏から紀彈的質問行はれたに對し中島氏は次の如く答へた

あの雜誌の記事は十數年前自分が或る學術雜誌に書いたものをそのまゝ掲載したものでこの點は眞に不用意であつた、殊に現在の自分の思想は當時と全く異りあのやうな考へは持つてをらないのである、これについて種々■■を起したことは誠に恐懼に堪へない

中島男はこの答辯方針を一貫するものと見られるが兩院でもこの點について再吟味して對策を考究中である、中にはこれは單なる歴史論であるから深く追究すべきでないとの見解を有する者もあり又商相の眞意がこの答辯通りとすれば何故に雜誌が全國に流布されてゐることに對し適當の方策を講じないのであるかと更にその眞意を疑ふ向もあつて問題はこの釋明で解消しさうもない

る、不用意にも今回現代に轉ぜられ諸君の注意を惹いたことは誠に恐懼に堪へぬ、陳謝の意を表する

栗原君 唯恐懼してゐる、今は信念が違ふ、あれは十數年前のものだとすましてゐるべきものではない、國務大臣たる者が亂臣賊子に傾倒してゐるといふ文章が載つてゐるのを些事なりとすましてゐるは怪しからん海陸兩相はこれを皇軍の精神と一致すると思ふか

栗原君 國務ださいきり立つ、併し叫べば政府側から「それは國務ではない」と彌次れば

栗原君 陸海兩相の答辯なきは陸海兩相とも答ふるところなし

栗原君 本問題に困つてゐるからだ、同情する

く自決すべきだと前提して、商相の取引所監督不行屆を責め東株缺損問題、東株役員の神兵隊事件關係問題、東株增資問題、東京海上の增資問題等につき商相をやりこめ乍ら一問一答を續け

◇問題となつた商相の隨筆◇

【東京二日發國通】夕刊つゞき＝衆議院豫算總會に於ける杉山元治郎君の質問に對し後藤農相、小山法相夫々答辯するところあり、代つて

栗原彦三郎君（國同）政府

のが不用意な事情から現代に轉載されたものので遺憾である、私は尊氏に對しては十數年前の漫筆とはその信念を異にしてゐる

在滿警察問題

衆議院豫算總會に於ける

廣田外相の答辯

【東京特電二日發】二日の豫算總會で池田秀雄氏から在滿警察問題について今回の制度はやがて憲兵による統一を企圖するものではないかとの質問に對し林陸相はこれを否認し、廣田外相は左の如く述べた

滿洲の治安維持は軍隊側から見たものと國民の立場から見たものとの區別する時期ではない、警察事務も軍隊のそれと一致させる必要がある、また附■■■行政權と附屬地外のそれとも密接な關係があるから關東■■の事務と大使館のそれと區別することも■■である、かやうなわけで三者の密接なる連絡と調和をはかるために今回の改制となつたもので、これがさしあたり便宜の手段である、將來滿■■國の獨立

性が確實となつてきた時にはまた趣旨のたつ改制を加へたいと考へる

と答へた

急所を突く

■氏の質問

【東京二日發國通】二日の貴族院本會議でなされた■■直彥氏の綱紀肅正問題は過日の上山滿之進氏の抽象論に對して數字的基礎に基き相當具體的の事實を暴露し鋭く核心に觸れ政府の急所を突いた感があり貴族院としては珍しく拍手を浴びせるなど貴族院の同問題に對する空氣も頗る硬化の度を示しているが之等の情勢に對し政府は相

當綱紀を正しつゝあり同問題の諸點につき大藏當局をして更に調査考究せしめた事實を釋明し疑惑を一掃すべく準備してゐる

現制支持

首陸外相答辯

【東京特電三日發】在滿機關の三位一體制が事實においてはその見地から大改革を要するものありとの見地から議會において政府がこれを改革する意思ありや否やについて質問行はれてゐるが、一日の豫算總會において齋藤首相は現在の制度は暫定的のものであるが、未だこれを改革する時機に達してゐないと答

へ、陸相も亦現在のところ治安維持がなほ重要視されてゐる關係から軍司令官と關東長官を兼任することは已むを得ない、これを分離を要すると答へ、廣田外相は軍司令官の大使兼任は一見矛盾にも見ゆるが矢張り治安維持が重點となつてゐる際にはこの兼任が便利と思ふと答へ、政府としてはなほ當分現制度を續ける方針であることが判明した

三位一體是非

"必要な暫行制度だ"

池田氏質問、林陸相答辯

【東京二日發國通】衆議院豫算總會は午前に引續き午後一時五十分再開

池田秀雄君（民政）滿洲の帝政立憲■■實現せんとするに際し對滿機關の名實兼備の■■將來三位一體制を改める意思なきや

齋藤首相 三位一體制は暫定的だが今は改める時でない

池田君 關東州、■■地は滿洲國に讓渡すべき筋合でないかと思ふ

首相 仰せには同感

池田君 關東長官と軍司令官兼務はその性質上不都合でないか

林陸相 今日は治安關係から兼務が便利だ、兼務を解く時期は各關係方面で研究してゐる

池田君 父母の關係にある司令官と大使の兼務もまた性質上不可能でないか

廣田外相 池田君と同感だが治安維持のため當分はこのまゝが便宜と考へる

池田君 滿洲警察制度で憲兵司令官をして領事館警察を兼務せしむる理由

如何

外相 軍隊と國民の治安維持は一致させる必要があるから兼任制を採用しやうと思ふ

次いで**宮脇長吉君**（政友）起ち木前陸相に突つ込んで聽きたかつたと前提し

軍縮條約は成立させたいものだが政府に如何なる用意ありや

大角海相 次期軍縮會議への方針は研究中で具體的にいはれぬが攻むるに足らず守るに足るといふ程度に縮小するは贊成だ

外相 我國防は■■的自衞權たるを本質とす

宮脇君 軍民離間の軍聲明は輕率だと思ふが如何

■相 積極的軍民一致に至極同感で軍民離間なる言葉は不愉快に思つてゐる

宮脇君 滿洲事件で軍人が有難がり入り過ぎ却つて國民の反感を招いた、軍人の政治干與の弊を如何にみるか

陸相 軍人が政權をとつて代るとは考へてゐないと信ず、只政

相を些へ種々疑惑を抱いたのである

宮脇君 軍人が複雜な農村問題の濃相を摑みその對策を樹つる事ありとせば軍人はその本職を離るとの信す、將校の農村問題論議は危險だ

陸相 先般農村問題に關心を持つと申したのは私が研究するといふので將校に關心を持たせる意味ではない

宮脇君 在郷軍人大會の意見は郷軍全部農村を代表するものでないから誤られないやうに

と陸相を戒め更に

海相 軍人は政治に干與すべからずの文書を一讀する可き所を示すきでないか

海相 私も同感で將來動論の主旨を文書にして據る可き所を示す積りだ

宮脇君 前陸相が内政會議に出席したのは國民の軍に對する關心を誤らしめたから今後注意されたいと林陸相にダメを押し次いで河野一郎君（政）■■時局に際し政府は何もしてゐない、首相は宜し

【東京特電三日發】中島商相に對する足利尊氏論の非難點はその文中「余は平常足利尊氏の人物に傾倒してゐるといふ點にある」が

中島商相 朝鮮に護鑛埋藏量の豊富なるを發見したからこれが將來製鐵原料として頼みになるとは思ふが砂鐵研究のことは知らない

栗原君 足利尊氏が不忠不信だといふ斷定は決定的だ、然るに「現代」二月號に於て商相が「自分は平素足利尊氏の人物に傾倒してゐる」と書いたのは如何なる理由か

商相 現代に掲載された一文は十數年前に或文學雜誌に書いた

後藤農相 農業の點から議會に於ける砂鐵の精錬事業に商工省の冷淡なるを難ず

問題で中島商相

尊氏

答辯方針

それ丈では解消せぬ

衆院豫算總會

質問一日延長

【東京三日發國通】衆議院豫算總會は三日で質問打切り分科に移す豫定であつたが、更に一日延長せる四日は日曜につき五日迄豫算總會を開き同日豫算總會の質問打切り六日より分科會に移ることゝなつた

濱離宮で

思召の鴨獵

仰付けらる

【東京三日發國通】畏き邊りでは御喪明けとならせられたので宮中御優遇の思召を以て三日濱離宮で初の鴨獵を仰付けられ宮召されたる櫻井、河合、鈴木石井、水町、原各御用掛顧問官（倉富、平沼正副議長以下各顧問官不參）鈴木侍從長、二上樞府議長、若槻、幣原、鈴木各前官禮遇、長岡、出淵、吉田各大使等は濱離宮附、林式部長官、坊城主獵課長その他の接伴により午前十時から雪の中で樂しき鴨獵を行ひ正午饗饌御料理で午餐を賜はり四時近く終了、何れも光榮に感激し離宮を退出した

河野君 鐵鑛製鐵■■■■中請を押へてゐる理由如何

福田鐵山局長 昭和製鋼所及び日本製鐵より申請あるも未だ計畫が熟してゐない、認可は製鐵獎勵法の適用、銑鐵需給關係を考慮して研究する

河野君 東拓所有の南洋栗殖株に對し拓相の措置に遺憾なきや

永井拓相 今日貴族院で答へた通り何等遺憾の點なく右の株處分は政府の認可事項でない

河野君 尚も帝人に憲銀の株を入社させた事で八ツ當りし現内閣組閣の精神に鑑み遺憾に堪へずと詰問

首相 組閣以來綱紀問題は充分注意してゐる、お調べになれば良く判るはずだ

櫻井兵五郎君（民）商相は何故もつと率直大■に世界の疑惑を一掃するに努めぬか

と前提し

北樺太油田試掘の經費百二十一萬六千圓を計上したのは餘り偏してはゐないか

商相 一、私は自ら進んで諒解を求めたことはない、公正會で求められたゞけで議政壇上でも機會さへあれば私の眞意を表明したい 一、燃料自給自足に重點を置いたから多少の費目を犧牲に

した點はある

櫻井君 商相の産業政策に關する指導精神如何

商相 現代經濟を基調としその統制強化する他社會政策上大衆生活の利害を考慮せる價格の統制が必要だ

櫻井君 更に鐵鋼合同の價格評價に關し相當突つ込んで商相と問答した後

後藤農相 農村を電化し過剩勞働を工業に向け窮乏せる農村■境を打開しては如何

農相 農村を工業都市化するは不可だ、田園の工業化は目下考慮中

櫻井君 英國と日本との關係の將來に關する見透し如何、又低廉な商品で世界市場を撹亂せんとするソ聯に對する方針如何

外相 日英經濟關係はむづかしいから目下その調節に努めてゐる

ソ聯は蘇聯の■■經濟組織でなしてゐる關だからその外交にも違つた觀點から行かねばならぬ

櫻井君 首相はゆる御と稱せられるが應急策でも出來ぬものを根本策となし得るや

首相 折角準備中だから暫くお待ち下さい

斯くて■田委員長より各豫算分科主査を報告午後六時十分散會

議會風景

議院間違ひか

■直彥氏の野■ぶり場所を違へる

【東京特電二日發】貴族院で津村中將が又も荒木陸相引退やら滿洲問題の蒸返しをやつたが▲それでも産業經濟の軍部の監督問題で陸相の明確な答辯を引出した意味なところもある▲期待された■直彥氏は■め聲が低く少しも聽えないので■■■をからだに活りつけて本論に入る▲例に依つてファッショ排撃と軍民離間問題を一くさりやつて軍部があの聲明の理由とした「アヂビラ等は豆鐵砲のやうなもので軍人のピストルから見れば何んでもないさ」▲高山彥九郎を泣かせたものはファッショ政治であるなど痛烈に皮肉つて後綱紀問題に移り▲衆議院で■■た■法を鋭く政府に向けて懺■せしめたが綱紀問題では上山氏等がいはなかつた大官の手數料徴收嫌疑にまで論及し政府を少からず狼狽せしめた▲この議會は議案が一向出て來ないので兩院とも手持無沙汰の態で登院者少い▲貴族院の一部ではこれ政府の怠慢無能の致すところとして緊急質問で警告をやらうと教■いてゐる向がある▲更に角珍らしいスローモーション内閣である

（漫畫は林陸相）

今後の議會

全く平穩

政府愈よ樂觀

【東京三日發國通】今議會は前議會に比し非常な活氣を呈してゐるが、開會劈頭に行はれた床次、町田兩氏の政民兩派代表の演説が所謂政民協力して現政府を支援せんとするとの意味を述べてその向ふ所を明にしたので、議會劈頭より議會の前途に對する見透しがついた、しかし相當問題化する惧れがあると觀られてゐたのは農村問題であるが、政府が愈々米穀に關する最高■■を決定し之を議會に提出する事に決意した結果、政府の紛爭の原因をなすと觀られた村問題もその解決を見る事になつたわけである、かくて次に憂慮された軍紀問題並びに軍民離間に關する軍部の聲明書問題も大體質問了り形で本問題は之以上紛糾する事はあるまいと見られる、かく觀じ來れば衆議院にて提出された醫療選舉法改正案位であるが、之れは大して問題とならぬ、即ち政治的に重視された諸問題は殆ど決を見る事になり今後の議會は全く平穩に終るべく豫想されるに至り政府はその前途を樂觀するにいたつた

日米豫備交渉を

米當局否定

記者團との會見において

【東京三日發國通】米國々務省は一九三五年の軍縮會議における日英米三國の正面衝突によつて決裂の危機に陷らぬとも瀬り難い事を感つて事前に相互の諒解を深める豫備交渉を行はんとする意思のある旨を仄めかしたと傳へられ、各方面より注目されてゐた所、日本武官駐米代理大使より外務省の公電によれば國務次官フィリップス氏は一日新聞記者團との會見において國務省は目下問題となつてゐる日米豫備交渉に關しては何等の議論もなし居らず、又斯かる動きもなし、從つて全然考慮したる事なしと強く否定した

ジョンソン法

案再可決

【ワシントン二日發國通】米國上院は二日對米債務不履行國に對しクレジットを與へることを拒否すべしとするジョンソン法案若干の修正を附して再可決した、可決後同案は直に下院に廻附された

政情安定を待ち

日支直接交渉開始

有吉公使南下せん

【東京特電三日發】福建事變によつて蔣介石氏の地位はいよいよ鞏固となり過般の國民黨第四次中央全體會議も事實上蔣、汪兩氏合作の強化を示し中央政府の存立性に危惧を抱いて對支懸案の解決に氣乘りしなかつた各國も漸くこれが解決に向つて動き出さんとする氣運濃厚となり英米及びソ聯等は何れも對支通商條約の改訂又は締結につき機會を狙つてをり特にこれらの新通商條約の締結に際してわが有吉公使もさきに鈴木公使館附武官と蔣介石氏との會見において兩者の間に見た諒解の後を承けて近く南下し南京政府當局と會見する筈であり、これをきつかけとして日支直接交渉の火蓋が切られる模樣である

日滿電信料改訂

新單價八錢か

近く行惱み解消せん

【東京特電二日發】日滿電信料改訂案は成るべく統一する方針であつたが會社の設立と共に官營電信料の設定が行惱んでゐたものが解決を見つゝあり、一語八錢位で妥協を見るものと見られ、近く公表されるであらう

日本の態度強硬に英側喫驚

日英綿業交渉

【ロンドン二日發國通】大阪よりの情報として日英綿業協議會に臨む日本綿業團の最後的態度を決定のため紡績聯合會が一日特別委員會を開催しその結果日印會商の失敗に鑑み特に慎重且つ強硬態度を以て臨むに決定しその旨我綿業代表に打電するに決したと傳へられたのでマンチエスター當業者は少からず吃驚してゐるがこの新事態に就いては公式報告に接した後改めて日本品輸出對策特別委員會を開催し討議する筈である、從つて二日に開かれた英國綿業の特別委員會では本問題は上らなかつた

共匪と財政難に苦しむ南京政府

臼田中佐の視察談

【天津三日發國通】前關東軍第四課參謀として奉天事件突發以來多大の功績を滿洲に殘した現參謀本部臼田寬三中佐は南支並びに山西方面を視察昨日午後來津したが左の如く語る

南京政府の今後の運命を決するものは矢張共匪問題と財政問題だ、然し弱つてゐるもの、參つてしまふでもなく、ずるずるべつたりに何とかやつて行くだらう、何れにせよ支那問題に對する日本の肚は極つてゐるよ、國民政府が東洋永遠の平和のため覺醒して眞に日本と手を握る覺悟が出來れば日本は欣んでこれと手を握るであらう、然らざれば東亞の平和の破壞者である、幸ひ北支では黃郛政權確立以來次第にこの協調空氣に動きつゝある事は眞に喜ばしい現象であると思ふ

なほ中佐は明日午後天津發奉天に向ふ筈である

十九路軍解消

【南京二日發國通】南京政府は十九路軍を改編して三個師に收容し第七路軍となし毛維壽、張炎を正副總司令に任命した

寧夏省に假政府組織

【南京三日發國通】孫殿英は中央の休戰命令を一笑に附し、石嘴子の公安局、徴稅局を接收し附近各縣の徴稅を開始した、中央では既に孫殿英の政治處分を終つたので遠からず何應欽に命じ討伐を敢行する模樣である

補助留學生

【新京二日發國通】滿洲國新學年の日本文化吸收熱昂まり定めて東京その他へ留學するもの益々增しつゝあるが、留學生中より優秀なるものを滿洲國補助留學生として東京駐日公使館■■の上十、十一、十二の三日間（試驗未定）高等中等の二部分に分つ一、■■解釋、國語作文、代數幾何、日本語、英語二、國文解釋、同作文、算術、格、口答

の試驗をなすこととなり試驗官として文教部から王維常氏が三日前九時發東上する、因に出願期は九日迄である

滿洲鹽田協議

【東京二日發國通】滿洲國に於ける鹽田開發に關する商工省主催の民間協議會は二日午前十時本省會室に開催、審議の結果滿洲國の田開發により優良低廉なる工業鹽を日本に供給するため新■■を設立するに意見一致を見、正午散會した

各分科主査

【東京二日發國通】二日の豫算總會において分科主査左の通り決定
第一寺田市正、第二西田敬吉、第三倉元要一、第四八田宗吉、第五青木精一、第六武■■三

產金買上げ値

【新京特電三日發】滿洲國政府產金買上價格（自三日至九日）
一公分（瓦）につき三圓

南蠻彩船 (32)

鈴木氏亨作
布施長春畫

石川五右衛門（二）

「何者だ？」
河内國石川村の五右衛門は、術で敗けた腹癒せに、さう〳〵脇差を破裂させた。
「怒るのは早い。余が神變無想の幻術、まだ其方には解るまい。いま、手の内を見せてやらう！」
月下、依然として、人無きに聲だけが、虚空の中から朗かに響いて來る。
「見せろ？」
五右衛門は、野人の地金をさらけ出した。
後年、石川五右衛門として、大閤秀吉を向ふにまはし、その寝所に忍び込んで、千鳥の香爐を盗まうとした大賊も、南禪寺山門にかゝつては、まるで小兒扱ひだ。
「よろしい。いま汝の前に、京は清水の景を見せてやらう」
言葉が終るか終らないうちに、京の清水の景が、繪畫のやうに五右衛門の前に展べられた。
「やあ、絶景！」
彼は遊覧者のやうに叫んだ。
そしてそこには、大鳥の社の社殿も、いままで眼界を遮つてゐた鳥居も、天上の月も跡形なく消えて、一幅の活彩圖が、忽然として展開したのであつた。
だが、それも一瞬――
清水の景が消えてしまふと、月の蒼空からは、雨交りの霰が落ちて來て、肌すやうな寒ささへ加つて來たのだつた。
「おゝ寒む！」
五右衛門は、ぶるツと身顫ひした。
「どうぢや五右衛門、驚術や移術は初歩ぢや。天地自然を掌中に入れて、宙宇をぺろりと鵜呑みにする。これが神變無想の幻術の極奥ぢや。其方にこの眞似が出來るか！」
依然として姿は見えず、聲だけがする。
「参つた。それにしてもちと寒過ぎます。早う霰など晴らしてくださらぬか」
五右衛門は一も二もなくへたばつてしまつた。

「事實、参つたか」
「参らいでか、この上は貴殿に縋るが御座る。姿を着けてはくれまいか？」
「頼むとは、如何やうなことぢや」
「その前に、この霰を晴らしてくださるまいか？」
「よし〳〵、よう見て居れ」
暗の虚空の中に、掌を打つ音がしたかと思ふと、地を打つ霰の音がはたとやんで、空はもとの皎々たる名月の世界となつた。
五右衛門は、附近を見廻して仰天した。そこには、霰の跡も、雨滴のための地濕りさへもしてゐないのだつた。
「おゝ、不思議、不思議！月は元の通りぢや。して大鳥の社も、鳥居も何の變りはない」
「五右衛門、神變無想の幻術、ようわかつたか」
「よく、わかりました。どうか姿を現はしてくださいませ」
「何に、姿を現はせ、余は、其方の眼の前にゐるではないか！」
「えつ、眼の前に。左様でございますか、ど、何處でございます？」
「こ、こゝぢや」
「一向見えませぬ」
「見えぬ筈ぢや。わしは五右衛門、其方の體内にゐるのぢや」
「げえつ！」
彼は、自分の體が破裂でもしたやうに驚いた。
「ど、どうかお許し下されて、わしを弟子にして下さらぬか、お願ひです。お願ひです」
「さらば、弟子にして進はすによつて、汝、余が住居まで、つれて行つてくれまいか」
「へえ――か、し、こ、ま、り、ま、し、た」

満日柳壇課題

▽題「鏡」「友情」「満」編輯局選
▽締切 二月十日（各題五句、別紙の事）
▽選 満洲帝國の歌吟 高橋月南選
▽締切 二月十日一人一句（三月一日發表）
▽宛 本社編輯局川柳係宛
▽賞 佳吟に薄賞を呈す

戦艦を慄へ上らせる 海の怪物〝潜水艦〟

海水浴をやつて居て、皆さんは時々水潜りをしてみた事があるでせう。でも一分間もたつと、もう苦しくてどうしても頭を水の上に出したくなるでせう。だが、今日は水中を二十四時間も平氣で進むばかりでなく、戦争の時にはあの大きな戦闘艦や巡洋艦をもふるへ上らせる潜水艦についてお話いたしませう。

潜水艇がはじめて使はれたのは七十年前

★……アメリカの南北戦争のとき……★

潜 水艦が初めて海の戦争につかはれたのは一體いつ頃なんでせうか。それは今から丁度七十年ほどまへのアメリカ南北戦争の時でした。その時南軍は水上にある艦艇が少くて、水上だけではなかなか北軍に勝てさうもなかつたのです。それで非常に澤山のお金をかけて考へ出したのが潜水艇でした。潜水艇といふと直ぐ今の立派な潜水艦と同じものだと思はれますが、決してそんなに立派な完全なものではありません。速力は僅かに四ノットで、水の中に潜つて居られる時間はたつた三十分程でした

南 軍はこの潜水艇を三隻造つたのでしたが、北軍の封鎖艦隊を襲撃して、自分より十倍も體の大きい軍艦を一隻見事に撃沈させ、そしてあとの三隻には大きな損害を與へたのです。この戦争で立てた潜水艇の手柄を各國の人々は傳へ聞き、世界中の人々はいよいよ潜水艇がどんなに重要な役目をするものであるかといふことを知り、自分達の國でももつとよい潜水艇を澤山造らなければならないと考へるやうになりました

そ の後科學は益々進んで電氣の機關が發達し、水雷が發明されてから各國は競争で、かうした新しい力を潜水艇に應用するやうになつてから驚くほど早い勢ひで發達して行きました。それと同時にこれを操縦する技術もだんだん上達して行き殊にアメリカ、イタリー、フランス等が潜水艦を造ることにも技術を探ることにも熱心でした。ドイツ、イギリスなどもそれに動かされて、自分の國でも負けないやうに、潜水艦の研究を始めたのです。

世界各國に負けぬ日本の潜水艦

今では千六百トン位のものは我國で樂に出来る

わ が日本が始めて潜水艦を戦争に使はうとしたのは、日露戦争の時です。日本海々戦に使用するつもりでアメリカから五隻買ひ込み、横須賀で組立てましたが、實際戦争には使ひませんでした。その後はフランス、イタリー、イギリス等から最も新式なのを買ひ入れ、又日本海軍獨特のものをも考へ出して、各海軍工廠のほか三菱、川崎等の造船所でも建造しました。それから歐洲戦争の後ドイツから、一番進歩した潜水艦七隻をアンごツたので、この良いところをとつて、我が海軍獨特の考案を續けましたので、今では世界の何處の國にも負けない立派なものが出来るやうになつたのです。明治四十三年春あの有名な佐久間大尉の殉死した第六潜水艇は僅かに五十七噸に過ぎないものでしたが

今 では千六百五十噸もある大きなものが、しかも全然我が海軍の力だけで出来るやうになつたのですから驚くではありませんか、今日本では千噸以上のものを伊號といひ、千噸以下のものを呂號と呼んで居ります。そして伊號を一等潜水艦といひ、呂號の方を二等潜水艦といつて居ます。潜水艦がいつ頃から戦争につかはれ、今ではどんなに立派なものが出来るかといふことはこの位でお判りになつたでせうか、こんどはどうしてあんなに大きな艦を自由に水の中に沈めたり浮ばせたり、水の中を自由自在に走りあるいて、敵艦を見つけるとすぐに水雷發射が出来るのかを、お話しませう。

アメリカの最新式巡洋潜水艦

飛行機を乗せてゐるイギリスの潜水艦

浮き沈みはどうしてするか

大切な三つのタンク

潜水艦が浮き上つたところ

大 急ぎで沈んだり、浮んだりするのには、タンクが一ばん大切な役目をするのです。タンクにはメーン・タンク、補助タンク、釣合タンクの三つのタンクがあります。メーン・タンクの口を電氣の力で大急ぎに開けるとこの中に海水が流れ込んでタンクの中はたちまち一ぱいの水になります。するとその重みで潜水艦はすぐに沈んで行きます。浮び上る時はその反對にこのタンクの海水をやはり電氣の力で外に出してしまふと、艦はするするとエレベーターが上る様に楽々と水面に上ります。又飛行機の上から見ると淺い所に沈んで居る潜水艦はよく敵にわかるおそれがありますから適當の深さに沈んで居らなければなりません

そ の深さをきめるには補助タンクの力をかりるのです。さうして舳の方が浮び過ぎたり、しつ尾の方が浮び過ぎたりすると進航するのに困りますから、これを適當に釣合せるのは釣合タンクの役目です。潜水艦が丁度よいところを潜りながら進むためには、どうしても外のよく見える眼鏡が必要になつてきます

潜水艦の目玉

目 玉は人間にとつても一番大切なものですが潜水艦の目玉は何處に敵艦が浮んで居るだらうか、何處に味方の軍艦が居るのか絶えず見て居なければ戦争の役に立たないのですから、これは最も重要な役目をするものです。この目玉の名前は潜望鏡といふのですが、普通ペリスコープと呼んで居ます。それはどんな具合になつて居るかといふと、細長い圓筒がニヨツキリ水面に顔を出して居て、その頭と底に三稜鏡といふ鏡がつけてあるのです。でその頭の鏡に寫つた外の様子がすぐ底の方の鏡に寫るやうになつて居ますから、艦が水中にすつかり體をかくして居ても此の圓筒だけが水面に顔を出して居れば、前方に何があるかよく判るのです

敵艦を沈めるまで

こ れでいよいよ水潜りのまゝ自由に走れるわけがわかつたでせうから、いよいよ戦争の時はどんな働きをするかを書きませう。

水雷を發射

わが潜水母艦『長鯨』

潜 水艦は眞晝間でも水中にさへ潜つて居れば敵から見つけ出されないのですから、敵艦が氣づかない中に水中に潜つてだんだん近づいて行きます。そしていよいよ敵艦に近づいて行くと、各潜水艦は他の潜水艦にかまはず勝手に働き始めるのです。主に敵の港口や沖に待ち伏せてゐて、敵艦の近づいたのを知ると、時々ペリスコープを水上に現はして敵の方向や、その早さ等をよくしらべ、もう水雷を發射しても大丈夫だといふところまで行つた時、水上に姿を現はして魚形水雷を發射します。これが終ると又すぐ姿を水中にかくして敵艦から遠ざかり、すぐ第二發目の水雷を用意して、再び敵艦に近づきそれを撃沈するまで續けます。

勝つも負けるも潜水艦と「水兵さん次第」

潜 水艦は他の軍艦に比べると艦内がとても狭くて、色々の動作をするのに随分窮屈です。然し日本の海軍さん達はそんなことは平氣で世界のどこの海軍もかなはない程よく働きます。さうして水雷を發射する技術も決してよその國にまけません。潜水艦が多いか少いか、潜水艦に乗つて居る水兵さんの強いか弱いかで、海の戦争の勝ちまけが決まるといつてもよいほど、潜水艦は大切なものです。

こどもの考へ物 第八十四回

變に寫つてるが見た顔だゾ 荒木大將でもなし

病氣で陸軍大臣をやめた荒木大將でもなし、變に寫つてゐるが見たことのある顔だ。それもそのはず、いま帝國議會で陸軍のために働いてゐる陸軍大將です。さて誰でせうか。わかつた方は、来る二月十一日までに、大連市東公園町満洲日報社内「満日日曜附録係」あてに、ハガキでお答へください。正解者にはいつものやうな方法で二十名に限りご褒美を差しあげます

第八十二回の答 左に行く

第八十二回の考へもの――ハイスピードで走つて来た自動車は左に行きました。今度も正解者が大へん多かつたので籤をひきました。そして次の人々にご褒美をあげることになりました。市内の當籤者には新聞社から當籤通知のハガキを出しますから、それと引きかへに本社でご褒美をお受け取りください。地方の方へは直接お送りしますから、それまで樂しみにおまちなさい。

當籤者

▲旅順眞田房子▲海城大橋美千男▲奉天大辻昭助▲同新宅幸雄▲四平街田邊久子▲鞍山沼田フキ子▲新京桑名淳子▲沙河船木弘▲大連宮田要▲同奥野早苗▲同渡邊德雄▲同朝比奈佳之▲同野口美枝子▲同川上今子▲同高田良枝▲同吉田澄子▲同迫しづ子▲同西牧幸代▲同大沼要子▲旅順天野保子

中等學校入學志望者 日曜の練習課題
お答は次號に出します

算術

(1) 682.5圓÷(1+0.075×4 4/12)

(2) 0.57−0.4+8

(3) 6mヲ隔テテ2本ノ電柱ガアル。此ノ2本ノ電柱ノ間ニ2.5m毎ニ電柱ヲ植エルニハ幾本ノ電柱ガイリマスカ

(4) 次ノ間ニ答ヘナサイ
イ 直角トハ何度ノ角デスカ。
ロ 1lトハ幾ccノコトデスカ。

(5) 銀ノ比重ハ10.5デス。體積400立方センチメートルノ銀塊ノ目方ハイクラアリマスカ

(6) 甲驛カラ乙驛マデ3L5粁アリマス。汽車ガ此間ヲ行クノニ2時間ト20分カカリマシタ。此汽車ハ毎時間何粁ノ速サデスカ。

(7) 15圓デ仕入レタ品ヲ1圓ニ賣ルニ何割ノ利ガアルカ。

(8) 5分利附公債證書額面五百圓ノモノ二枚ヲ持ツテヰル人ノ半年間ノ利子ハイクラカ。

(9) 或人ガ持ツテヰタ米ノ2割5分ヲ賣拂ツタガマダ45俵殘ツタ。イクラ賣ツタノデセウ

(10) 1俵13kg入ノ炭6俵ノ價ガ17圓10錢デアルト1俵1kg入ノ炭8俵ノ價ハ幾ラカ

國語

(1) 次の文を讀んで問に答へなさい

春は若草山の芝緑にもえたち、三月堂二月堂霞につゝまれてさながら夢の如く、秋は春日の社神さび、手向山の紅葉夕日にはゆる樣殊に見所あり。人なつかしげに寄り來る鹿の春はわけてもやさしく、秋より冬にかけて哀音しきりに人の眼をさますも奈良には缺くべからざる風情なるべし

1、「さながら夢の如く」とはどんな有樣ですか
2、「神さび」とはどんな意味ですか
3、「夕日にはゆる樣」とはどんな意ですか
4、「奈良には缺くべからざる風情なるべし」とはどういふ意味ですか
5、この文はどこの何の景色をのべた文ですか

(2) 次の言葉のわけを書きなさい
イ、偉人の品性に深く感化す
ロ、一念こつた不斷の努力は恐しいものだ
ハ、大瀑布の壯觀は實に筆舌に盡し難く候
ニ、舊態を改めて面目を一新す
ホ、事務の處理も凡ての議論も公平なる精神が根本だ

(3) 次の言葉の意味の違を述べなさい
イ{雜念なく／餘念なく　ロ{想像／理想　ハ{復習／豫習　ニ{親密／綿密　ホ{出沒／沒頭

(4) 次の文に誤りがあれば正しくなさい
イ、凡て事業は人々が協力するのでなかつたら効果を完全に擧げる事が出來る
ロ、廣い世の中にも誠意に動かぬ人は恐らくあらう
ハ、借りた本がすつかりぬれたので心配のあまりその晩はとう〱眠れた
ニ、學校の規則をよく守り、熱心と努力とをもつて勉強したので今日の名譽を得なかつた
ホ、昨日はよい天氣だからスケートをうんとやつた

(5) 次の語をつかつて短文を作りなさい
イ、今更のやうに
ロ、例の如く
ハ、かれ〲
ニ、陰に陽に
ホ、顧みず

國史

(1) 鎌倉、足利、徳川の幕府について、次の問に答へなさい。
1、誰が開いたか。
2、誰の時亡びたか。
3、凡そどの位續いたか。
(註=どこに開いたかそれが何時であるかもしらべるとよい)

(2) 明治以後、わが國が外國と戰つた大きな戰爭三つをあげ、その相手の國名、その戰によつて新にわが國が治めるやうになつた地方名、それらの治める役所(行政廳)の所在地を書きなさい。

(3) 徳川家光と井伊直弼とが外國に對してしたことの異なる點をあげなさい。

(4) 次の文を讀んで、事柄に誤があれば、その誤つた箇所に＝をつけお直しなさい。
明治天皇御年十六にて御位に卽き給ふや、間もなく徳川家康、大政を朝廷に返し奉りたれば、それより後大小の政すべて幕府より出づることゝなれり。

(5) 次の出來事を時代順にならべなさい●
憲法發布。大化新政。明治維新。武家政治の始。建武の中興。條約改正。徳川家光の鎖國。

(6) 「嗚呼忠臣楠子之墓」と題した碑は、誰が、誰のため、何處に建てたか。

地理

(1) 我が國に於ける火山脈の主なものとその中の有名な火山を一つづつ書きなさい、
(2) 我が國の川は人間にどんな利害を與へてゐるか、
(3) 我が國に於て林業の盛な地方はどこか。
(4) 我が國に於て製鹽業の盛な地方はどこか。
(5) 我が國に於て左の鑛產物の主な產地はどこか。
石炭　石油　銅
(6) 我が國の貿易について。
1、輸出品の主なものは何か
2、輸入品の主なものは何か
3、貿易港の主なものは何所か
4、貿易の主な相手國は何所か

理科

(1) 我々が食物としてとらねばならぬ大切な養分を六つ言ひなさい。

(2) 食物中に次のヴイタミンが不足したら我々の體にどんな故障が起るでせう。
1、ヴイタミンA不足の場合。
2、ヴイタミンB不足の場合。
3、ヴイタミンC不足の場合。
4、ヴイタミンD不足の場合。

(3) 次のヴイタミンを多く含む食品を二つゞつあげなさい。
1、ヴイタミンA
2、ヴイタミンB
3、ヴイタミンC
4、ヴイタミンD

(4) 食物を消化する液は何處から何といふものが出ますか

(5) 食物が消化する液にまじると次の養分はどんなふうに變りますか
A、蛋白質
B、澱粉
C、脂肪

(6) 舌はどんな働きをしますか

(7) 食物が體内に入つて體外に出るまで次の場所をどんな順で通るのか 番號をつけなさい。
小腸・食道・カウモン・胃・口
大腸

(8) 心臟はどんな働きをしてゐますか

(9) (A) 動脈とはどんな血管で、どんなのがありますか。又(B) 靜脈とはどんな血管でどんなのがありますか。

(10) 人間のミヤクハクは普通どれ位のものですか。

童話 賣られたライオン
平方久直 作　河野冬急 畫

ねずみがうろの中で、ひいて來た栗の實をかじつてゐると、のつそりと猫が顏を出しました。驚いたのなんのつて、ねずみは二三べんひつくりかへると、あとも見ずに一散ににげ出しました。逃がすものかと猫は追ひかけます。ちやうどまがりかどのところでごみためをあさつてゐた野良犬の鼻を二匹はかけぬけました。野良犬がひよいとみつけて、これはいゝ餌が見つかつたとばかり猫の後を追ひかけました。林をぬけて三匹は森の中にかけこみました。森の中にはライオンがすんでゐました。うつら〱とライオンはひるねをしてゐましたが、運惡くその鼻先のところを風をきつてかけて行つたものですから見つかつてしまひました。恰度ライオンはおなかも空いてゐたし、ひまで困つてゐたものですから、おあつらへむきの御馳走だと思つてまた三匹の後を追ひかけました。

ねずみと猫と犬とライオンは、一列になつてかけて〱かけました。山を越え、谷をわたり、野原をつつきつてかけました。

すると、其日は朝から一つも獲物がなくてうんざりしてゐた獵師がこれをみつけました。

――ライオンとはすばらしい――

と獵師は思ひました。そしてまた後を追ひかけました

そのうちに一番からだも小さく力もないねずみがつかれてしまひました。いく〱くたくたになつてそこにころがると、

「どうか命ばかりはおたすけおたすけ」

と、涙をながして猫にたのみました。

猫もあまりその樣子があはれなので、尻尾一本でかんべんしてやることにしました。

そこへ犬がかけで來ました。猫も鼻を地にすりつけて、手を合せてたのみましたので、犬もかはいさうになり、これも尻尾をもらつてゆるしてやりました。

ライオンがまたおそろしい顏でかけて來ました。

犬は猫がねずみをゆるしたことを話し、自分も猫をゆるしてあげたことを話して命ごひをしましたので、ライオンは尻尾の一つ位もらつてもおなかのたしにもならないからとそのまゝ犬をゆるしてやりました。

だれからも追かけられてゐない獵師は、鐵砲の口をライオンにむけてゆつくり〱やつて來ました。

「どうだ、おれの言ふことをきくかれ」

と獵師はいひました。

ライオンは長い間かけてすつかりくたびれてゐたものですから、手向ひも出來ずにいひました。

「僕たちはみんなつぎからつぎとゆるしてあげたのです。あなたもどうか僕の命だけはとらないで下さい」

獵師はしばらく考へてゐましたが、

「命なんか取らうとはいひませんよ。そして尻尾も、毛一本だつて取りはしません。そのかはりそこにしばらくぢつとしてゐなさい」

と云ふと、腰のくさりを外してライオンの手足にガチヤリとはめてしまひました。

そして町に引いて來て、サーカスのをぢさんに、高いねだんで賣つてしまひました。

たしかに、ライオンは獵師のいつた通り毛一本とられはしませんでしたが、それから毎日毎日をりの中で不自由なくらしをしなければなりませんでした。

みなさん。まちに來るサーカスにこのライオンがゐないでせうかたづねてみて下さい。

前週のお答

算術

(1) 答。立方體ノ方ガ0.012CC大キイ。

(2) 答。周ハ29.83mデ面積ハ70.85平方メートル弱

(3) 1÷12=1/12・式ノ説明
1/12×8=2/3 オデキマスカ
1−2/3=1/3
1÷18=1/18
1/3÷1/18=6
答 乙ガ六日間デキマシタ

(4) 6277.5圓÷93圓=67.5(a)
67.5a÷3/8=180a
答 約180aアリマシタ。

(5) 1850圓÷100圓=18.5
1.4錢×18.5×90
=2331圓
1850圓+23.31圓
=1873.31圓
答 元利合計1873圓31錢

修身

(1) 帝國議會は憲法の規定によつて每年召集され、我が國の法律や豫算などを議決するところです

(2) 皇室典範は帝國憲法と一しよに制定されたもので、皇室に關する大切な事柄を色々きめてある規則で憲法と同じく國の大法です。

(3) 兵役に服せなくても、護國の義務はあります。戰に行く人をはげましたり、家でよく留守をしたりするのはその一例です。

(4) 不時の出來事に出會つてもあわて騷がず、落ちついて出來るかぎりの力を盡すことで、佐久間艇長等はその最もよい例です。

(5) 忠臣は孝子の家から出るといふことで、我が國では先祖代々皆忠義をつくすを以て第一としてゐますから、忠義をつくすことは祖先の美風をあらはすことになるのですから、忠と孝とは一つだとの意味だと思ひます。

國語

(1) 各國の國旗は、その國の建てられた時の歴史をそれとなく示してあり、あるものはその國民の最もよいと信じ望んでゐる事や深く心からうやまひ信じてゐる事を表はすものであります。ですから國民がこの國旗に對してのうやまひたつとびは、とりもなほさずその國家を愛しその君に忠義をつくす心のあらはれであります。ですから私達は自分の國の國旗を尊び重んじると一しよに他の國々の國旗に對しても、いつも敬はなければなりません。

(2) イ、實際を調べてうたがひをとく。
ロ、まつ暗い土地から明るい所に出ます。
ハ、我が國の文學の上にいつになつても消えないりつぱな光をかがやかしてゐる。
ニ、法律の案を一條づゝくはしく相談しあふ。
ホ、やさしくなさけ深く、かけめなく德をそなへて申し分のない姿。

(3) イ、學問　研究　順序　正確　進步　努力　最後　目的　達成　必要
ロ、(1)國家　秩序　孝綱
(2)國民　程度　如何

(4) 發達　養生　承知　承認
恩賞　賓人　討伐　討死
探検　探偵

(5) イ、上手にすべるスケート選手の姿はさながらつばめのやうです
ロ、試驗の準備も略々終へた、もうこれからは仕上げだ。
ハ、ロングをはいた私は態度の空に力を得て一もくさんにすべつた。
ニ、ガラス工場では滿人の子供もかひ〲しく働いてゐる。
ホ、此頃は私もひたすら勉強に努めるやうになつた。

國史

(1) 1、大化の改新＝藤原鎌足
2、武家政治の始め＝源頼朝
3、明治維新＝徳川慶喜

(2) 1、大日本史＝徳川光圀
2、古事記傳＝本居宣長
3、山陵志＝蒲生君平
4、夢物語＝高野長英
5、海國兵談＝林子平

(3) 1、將軍では 徳川家康、徳川家光、徳川吉宗
2、政治家では 新井白石、松平定信、井伊直弼

(4) 1、國學者では 賀茂眞淵、本居宣長
2、漢學者では 伊藤仁齋、柴野栗山
(註) 國學者には僧契沖もその一人、漢學者では林道春も木下順庵、山鹿素行もその一人です。

(5) 1、尊王論者＝高山彦九郎
2、尊王攘夷論者＝徳川齊昭
3、海防論者＝林子平
4、開港論者＝渡邊華山
(註) 右の人々を適當とすれども(1)ハその他、蒲生君平、山縣大貳、竹内式部、などもよく(4)ハ高野長英もその答へとしてよい

(6) ロシヤ、ドイツ、フランスで、これを三國干渉といふ。

(7) (1)豐臣秀吉 (5)ポーツマス條約
(2)石田三成 (1)朝鮮征伐
(3)大石良雄 (4)大政奉還
(4)山内豐信 (3)赤穗義士の仇討
(5)小村壽太郎 (2)關原の戰

地理

(1) 我が南洋の委任統治地を治めてゐる役所は南洋廳といつてコロール島にあります。

(2) 南洋委任統治地の主なる物產
砂糖
コプラ
燐鑛

(3) 旅順の名高いわけ
1、日露戰役の戰跡として名高い
2、關東州を治めてゐる關東廳があるので名高い

(4) 滿洲と内地との氣候の違ひ
1、氣温について
内地は大體氣候溫和の處が多いが滿洲は大陸的氣候で寒暑の差がはなはだしく、殊に冬は寒さがはげしい。
2、雨量について
内地は一般に雨量が多いが滿洲は少く、晴天の日も内地よりはずつと多い。

(5) 1、撫順　石炭の主な產地として名高く、殊に露天掘が名高い。
2、安東　木材の集散地であつて製材業、製紙業が盛んである。尚こゝの柞蠶も有名である。
3、開原　滿鐵沿線に於て大豆の集散地として名高い
4、新京　滿洲國の首府であり商工業が盛んである。
5、ハルビン　北滿農產物の集散地としてはやくから榮えてゐる都會で交通上の要地となつてゐる。從つて商工業も極めて盛んである。

理科

(1) A、1、ハ、ひらたい骨て。
2、下あごの骨の他は全部互に結び着いて箱の樣になつてゐる。
B、手足の骨の樣にぐら〱動いたら柔い大切な腦を完全に保護する事が出來ない。

(2) (A) 腦　(B) 骨　(C) セキズヰ

(3) 筋肉は縮む働きはしますが決して自分で伸ばす力はもつてゐません、それで曲げた手足を伸ばす動作は曲げる爲に縮んだ筋肉の働きでな…にある筋肉の縮…です。

(4) 筋肉の兩端が…に着いてゐるので…に着いてゐなけ…

(5) 1、物事を…
2、身體各…
3、考へた…たり

(6) 胃・腸・肝…等があります。

(7) A、肺は呼…
B、心臟は…ゐます。

(8) 1、榮養を…
2、適當な…が大切で…

落語 法螺吹き按摩

笑福亭蝶樂演　武田一路繪

瘦我慢は決してするものではないと申しますが、人間てえものは兎角瘦我慢をしたがるもので、盲人が見える振りをする、無筆が讀めるふりをする、知らぬ人が知つたふりをする、誠によくないことです。殊に按摩さんといふ稼業、これが又知らないといふこと[illegible]出來ない、御得意が何れも閑人で、これを相手の仕事だから、利く利かぬは二の次で、下らない世間話を聽くのが樂しみ、芝居の好きな人の肩に捉まつて療治をする時は芝居の話を持掛ける。これは世間へ出這入りしますから、芝居へ行かないでも、帝劇が今何を上演して居るとか、歌舞伎は何をやつて居るとか、役者は何方が揃つて居るとか、ヤレ今は何々の狂言をして居るとか、諸方で聞いて來た事を受賣をする。だから彼奴は療治は下手だけれど、あの位記憶のいゝ奴はないとか、世間が廣いとか話が面白いとかおもちやになる。

富の市といふ按摩さん口から出任せ出放題、喋舌るのが此の人の稼業、口は禍ひの門、舌は禍ひの根とか申しますが、餘りに口數が多いと失策があります。

主人「ア、富の市か、サア此方へ入れ」

富「へエ、エー御機嫌宜しうございますか、毎度有難うございます只今お使ひを頂きまして相濟みません、今日は御療治を……」

主「ア、療治ばかりで呼びにやつた譯ではないが、どうだ今日は忙しいか」

富「イエ今日は何所へも參ることはございません」

主「さうか、此頃用人の藤太夫から聞いたことだが、貴樣は按摩には勿體ない程、大層武藝に達して居るといふ事だが、夫は眞實か」

富「へエ、ナニ、達して居るといふ程でもございませんが、表町の齋藤さんへ參りますので自然武藝が好きになりまして……へエ、御老母が六十幾歳でございます、其の方の肩を揉んで居るところを先生が御覽になつて、其の筋はどうとかこの骨はどうなつてゐるとかいふやうな講釋をなすつて下さるのです。按摩は柔術を覺えなければ駄目だと仰しやいまして、親切に教へて下さいましたので、一通りは覺えました。稽古には隨分苦しみましたが、それでも四五年やりましたので、只今では免許でございます」

主「ウーム何流だ」

富「揚心流でございます」

主「夫れは大したものだな、馬は稽古をしたか」

富「ヘエ大坪流を……」

主「やつたのか」

富「ヘエ是れも免許で」

主「恐れ入つたな、弓は」

富「弓も免許で……」

主「弓も免許……どうも可笑しいな、弓は盲で的を狙つてするもの、目が見えなくつても……」

富「イヤ其の眼と云ふものは心の眼、心眼と申してチヤンと見ることが出來ます」

主「どうも恐れ入つたものだ、劍術は」

富「一刀流で」

主「餘程やつたのか」

富「免許で」

主「何も彼も免許だな、一眼とか云つて劍術は目の配りが肝腎だと云ふな」

富「へエ、矢張り心の眼で」

主「心の眼と云つたところが、敵が何所に居るか判らず、眼が見えなくつて何うする、若し敵が一刀を振り下して來た時には……」

富「太刀風と云つて風を切つて太刀が下りて參ります、それを片手にチヤンと受けます、其處が即ち免許の腕前で」

主「大した腕前だな、盲人なのは惜いものだ」

富「へエ、先生もさう仰しやつて、これで眼があつたら諸國遍歷して他流試合でも何んでも出來るが惜いものだと……」

主「ホウ、それはさうに違ひない。ところで今日お前を招びにつかはしたのは外でもない、昨日馬を一頭買ひ入れたのだが、實に結構な駿馬で、どうも未熟の我々には乘りこなすことが出來んて」

富「ハ、ア、それはな何んですな一鞍攻めなければなりませぬな」

主「で、貴樣は大坪流免許の腕前であるから一鞍攻めて一汗かいてくれ」

富「左樣でございますな、それは雜作もないことですが、實は御前樣、此方へ出掛けに他の患家が、急に腹が起つて、ヘエ、鍼を持つて來てくれろと斯う云ふ譯してすけれども、此方が先約だからさう云ふ譯にも行かないから、兎に角御前樣へ上つて其譯を申上げて、チヨツとお暇を戴いてと斯う云ふ譯で參りましたので、チヨツとお暇を戴きます。何に直ぐ癒は治りませう、道具を持つて參りますので、さうして此方へ、か、歸つて參ります何しろ彼方は病人の事でございますから」

主「そんな事ないはんで、彼方に差支へのないやうに、私の方から立派な醫者を頼んで遣してやるから、決して心配するな、貴樣の失敗にならないやうにしてやる」

富「左樣でございますか、鍼といふものは上手下手は扨て置いて身體を知らぬ醫者ではお得意がいやがりまして、ヘエ、何しろ急の御病人でございますから、少々お待ちなすつて、チヨイと行つて參りますから」

主「コレ〱、さう立掛つた所で手を取つてやる者はなし其方へ行つては緣外へ落ちる」

富「ヘエ〱此のお廊下を」

主「お廊下なではない、それでは段々奥へ這入る」

富「ヘエ、ですけれども……」

主「ですけれどもぢやアない、構はず馬を曳け、其方に差支へないやうに此方でもしてやるから、コレ〱藤太夫、馬を持つて參れ」

富「イエ、な、何でございまして……」

主「藤太夫透がすな」

藤「ヘエ」

富「アイタ〱、御用人さんでございますか、さう甚く手を押へちやア痛うございます。私は今日身體の工合が惡いので、どうか御勘辨を」

主「御勘辨と云つて、貴樣は免許ではないか」

富「ではございますが、先方は大切なお得意でございまして」

主「それなら此方も御得意ではないか、馬を乘りこなして貰はうと思つて今日は招んだのだ、コレ〱馬を早く曳け、藤太夫馬へ乘せてやれ」

藤「ヘエ」

富「ア、痛い〱御用人樣、痛い〱」

主「痛いといつて貴樣揚心流の腕前ではないか、藤太夫如き瘦腕に摑まれたつて痛いといふ事はない引外してしまへ」

富「それが相手が出來る人だと引外せますが、も、も、素人が無茶苦茶に摑んだといふものは、却々ひ、引外し難いもので」

主「引外し難いと云つても構はんから……」

富「いくら構はんといつて」

主「コレ〱藤太夫、馬へ乘せろ」

富「ど、どうぞ、どうぞ御勘辨なすつて御用人樣、私は今日少し眩暈がいたしますので」

主「そんな眼が眩暈いたすか」

富「それは可けません、濡れて居りましても、眼脂が出ますし、時には赤くなつて痛んだりいたします」

主「致しますと云つても私の方で免許の腕前で摑んで乘こなして貰はうといふのだ、構はないから乘せろ〱」

富「いけません〱人殺し……」

主「何んだ人殺しとは、構はず乘せろ」

富「ア、どうも此の馬は生きて居る、動く」

主「動くといつて當たつて誰が摑まつて震へて居るんだ、手綱が其處にあるのに、鬣の手綱を取らんで……」

富「御前樣、ま、全く私は、馬はい、いけないので、わ、私は……」

主「そんな泣きツ面をするな、構はないから鞭を入れてやれ」

藤「畏りました」

といつて御用人がヒシーリと鞭を入れたので、馬は棒立ちになつて飛上つた、鞍に捉まつて

富「人殺し！助けて呉れ」

主「何んだ助けて呉れなどと、コレ〱構はずモウ一鞭入れろ」

一鞭入れると馬はパッとお馬場へ走り込んだ、廣い大きな立派な大馬場、周圍はズツと欅、枝が垂れて居ります。其馬場を、馬はグル〱驅け通し、奴さん眞青になつて鞍壺に捉まつて

富「助けて呉れ！助けて呉れ！」

ワーワツと云ふ騷ぎ、盲人はグル〱廻つて居る内に顏へ何か障つた物がある。何だらうか知らと思つて乘つて居るうちに、考へてゐると、馬といふものは、驅ければ驅けるほど坂へ登るやうな心持がするもので、もと〱弄戲になさる殿樣の頓智が好い方で、

主「コレ〱山へ登つてはいかん、此所は赤坂黑桑谷と云つて、谷へ落ちるといかん、山へ登るな」

富「登るなと仰しやつても、馬に叱言を云つてやつて下さい」

主「馬に叱言を申しても仕樣がない、氣を付けろ、谷へ落されゝば何丈といふ深さで、下は岩窟だ、落ちれば身體がコナ〱になつてしまふ」

富「コナ〱になつてはいけません」

主「コレ〱左へ寄ると谷へ落ちるぞ」

左へ寄るなといふが、廣いお馬場を左の方へ曲るのでございますから、どう考へても左へ寄るやうに思はれるので、眞青になつて鞍へ捉まつてお馬場をドン〱驅けて來ると、欅の枝が下つて居る、谷だ〱といふから、此奴谷底か何かだと考へた、命が助かりたいのですから、此の欅へぶら下つたら助かるだらうと思ひ、一生懸命の上へ手を擧げて欅の枝をパッと摑まへ、馬の背から離れてブラ〱とブラ下つた。

主「ア、あんな所へブラ下つたな、コレ〱どうした」

富「へエ、谷底へ捉まつたやうでございますが、どうぞ助けて下さい」

主「ウム助けてやる」

富「どうぞお助けなすつて」

主「助けてやるが、何しろ手を放すな、放してはならぬぞ、放せば何丈といふ谷でコナ〱になつて了ふ」

富「へエ、コナ〱になつては大變、どうぞお助けなすつて、生命ばかりは……」

主「助けてやるが、口から出任せの駄法螺を吹くなよ。舌三寸の間違ひだ、舌は禍ひの根だ、これから無茶苦茶な嘘を吐くな、馬鹿野郎」

富「そんなことを仰しやつても仕方がございません、助けて――」

主「助けてやる、今人足を雇つて來て、下から足場を組ませなければならぬ、迚もさう云ふ所へ下つて居つては尋常のことでは助けられない」

富「へエ、何時までぶら下つて居るので……大變だな、何うぞお助けなすつて――」

主「助けてやるが、是れから人足が來て足場を組立てると明日になる、明日の朝までさうやつて居られるか」

富「明日の朝までは迚もいけません、モウ腕が拔けさうになつて參りました、どうぞ助けて下さい、私が歿くなつた日には、六十八になる阿母がございまして、私が一人稼ぎでございますから路頭に迷ひます」

主「其れは心配いたすな、屋敷には若い女が大勢居る、其の取締りになるから年寄は私の方へ引取つて樂々と過させてやるから、後へ心を殘さず死んでしまへ、どうも仕方がない、今更足場を組んでゐても間に合はない、手を放して落ちてしまへ、上へは落ちん、下に落ちるのだ、下は岩窟だからコナ〱になつて了ふ」

富「それは大變だ、どうぞ助けて下さい」

主「これからは駄法螺を吹くなよ」

富「そんなことを仰しやつてもモウ吹いてしまつた後なので、これからは決して申しませぬから助けて」

主「助けてやりたいが、さう急に助ける事は出來ん、だから阿母の事なぞ心に殘さず早く成佛しろ」

富「成佛……情ないなどうも」

主「仕方がないから手を放してしまへ」

富「放すことは出來ません」

主「放す事が出來んことはない」

富「貴方は人のことだからさういふことを仰しやいますが、落ちれば命が失くなりますので」

主「失くなつても仕方がない、下へ落ちるのだ、分らぬ奴だ、構はず落ちて成佛しろよ」

富「情ないな、どうも腕が拔けさうで……それでは何うか阿母の事は心配ないやうに、何分お頼み申します」

主「どうも自分の口から出たことで仕方がない、舌三寸の誤りだと諦めて、手を放せ」

富「へエ、ぢやア仕方がありませんから手を放します、どうぞ阿母の事は願ひます」

パツと手を放すと、大地へヒヨイと立ちました、立つた譯で足の下三寸……（完）

一年前の回顧

張學良軍また來襲 （一月四日）

九門口奪回に數度敗れた何柱國軍は、張學良より石門寨方面に新しく增派された二個旅と合流して、張學良の督促嚴命によつて、最後的に九門口を奪回する爲め、此の日午前二時、我が九門口警備隊を東西北の三方より襲擊して來ましたので我が中川隊長は全員を指揮して二時間ばかり奮鬪し敵に大きな損害を與へ、石門寨方面に擊退しました。

オランダ水兵反亂 （同 五日）

オランダ巡洋艦ド・セーヴェン・プロヴィンシエン號の土人水兵はオーレール港において反亂を起し艦長やその他乘組員の上陸中を機として九名のオランダ人士官を監禁し、其儘沖に出てしまひました。當局では政府所有の汽船アルデバーレン號でこれを追跡[illegible]演習中のオランダ艦を急[illegible]ンに出動させました。午[illegible]至つてメラボーの西をス[illegible]向つて航行中であること[illegible]ました。

ロシア捕鯨船處罰 （同 六日）

要塞地帶でその上不開港小笠原島の二見港に不法[illegible]したソウエート・ロシア[illegible]があり、これをどう處分[illegible]いかと、我當局で種々研[illegible]りましたが、東京地方檢[illegible]此の日、宮城檢事正、[illegible]事をはじめ平田、金澤[illegible]思想檢事が最後的協議[illegible]果、要塞を探査したと云[illegible]いては起訴せず、船舶法違反だけで處罰することに決定致しました。その處罰の方法については、情狀に相當重きものがあるから船舶の沒收を爲すのがよいと云ふことになり、母船アリウス號を除く他のドールフアント、アバンガルト、エトチヤストの三捕鯨船を沒收し、それと同時に右の三隻の船長に對して罰金を各一千圓づつ課することが一番よいだらうと云ふことになりましたが後異論も出て、結局罰金各千五百圓を課して船體沒收はこれを許しました。

聯盟脫退國民大會 （同 七日）

杉村事務局次長は此の日午前十時十分より聯盟事務局でドラモンド總長と會談し、日本案を正式に提示して詳しく帝國政府の立場を說明しました。なほこの日、日本におきましては東京日比谷公園で對國際聯盟國民大會を開催し、聯盟即時脫退を決議し大いに氣勢をあげました。

熱河省民救濟嘆願 （同 八日）

熱河省は張學良軍や雜軍その他不正規軍等の洪水で、その數二十八萬といはれる程でした。彼等は省內の食料が缺乏するにつれて掠奪暴行をほしいまゝにした爲め省內は丁度生地獄のやうでした。これがため熱河省民の窮乏はその極に達したので、遂に錦州にあつた我が軍の部隊に對して省民の代表を送り「一日も早く日本軍が熱河に進出して生地獄の樣な境遇から省民を救つて欲しい」と歎願して來ました。

最大の飛行艇墜落 （同・九日）

館山海軍航空隊では八日午後五時から館山灣上空で夜間飛行訓練中午後七時頃海軍最大の飛行艇九〇式二號艇「タの一號」機が機體に故障を生じ同灣沖の島西方三百メートルの海上に不時着せんとしましたが過つて海中に突込み機體大破、乘組員十名の內七名は直に驅けつけた館山航空隊の救助艇で助けられたが、同艇指揮官分隊長進信藏少佐以下三名は行方不明となりました。

米艦隊太平洋滯留 （同 十日）

太平洋艦隊と合同し、太平洋で海軍大演習を行つてゐた米國大西洋艦隊は、大演習が終了してもなほ當分原地に引き揚げず、更にその期間を延長して一九三四年七月一日まで太平洋岸に滯留することになりました。これは米國海軍々令部長ウイリアム・プラット大將が聲明したのですが、その理由とするところはたゞ經費を節約する爲めだといふのでした。

今週のオ獻立

大槻壽美子

	朝	晝	晚
日	バタトースト、オムレツ、紅茶	とろゝ汁、麥めし、田樂	白魚と若布の清汁、まぐろ刺身、かきの三杯酢
月	大根の味噌汁、納豆	がんもどきうま煮、小鯵あちやら	さつま汁、キヤベツの酢のもの
火	しじみ味噌汁、昆布佃煮	玉子燒	たちのちり、うどの白和へ
水	豆腐の味噌汁、金平牛蒡	いわし鹽燒、大根卸し	新菊玉子とぢ、鰈のもつと大根の煮つけ、ほうれん草したし
木	卵の花汁、らつ京	ホツトケーキ、珈琲、みかん	マカロニスープ、オイスターフライ、野菜サラダ
金	白菜の味噌汁、うぐひす豆	大根と油揚の煮つけ	ふろふき大根、まぐろ照燒、酢だこ
土	かきの味噌汁、もみ海苔大根卸し	ハムライス	茶わん蒸し、燒蛤、鯛の卵の花和へ

カステロン・ブランデー
佛國葡萄酒界の輸出量は第七位なれど品質に於ては第一位を誇るはこれ！
内科 外科 性病科 X光線科 痔疾一切(新設)
近藤病院
近藤寛次郎
株式會社林兼大連出張所
冷凍魚、鮮魚、鹽魚、罐詰各一般
陸軍軍需品卸商
酒保用品
高木滿書堂
軍需品部
純長崎カステーラー
水月堂
カステーラホールと趣味のコーヒー店開設
三井物産株式會社大連支店
度量衡
水上洋行
三根眼科醫院
大理石
SSマーブル
南滿大理石工場
光學堂眼鏡店
りん病
別府淋藥
高級 美術 印刷全般
小林又七支店印刷部
電話六一六一番
大連の紙屋
登瀛閣
電話八七一〇番
志摩醫院
水晶堂眼鏡店
滿日印刷所
活版・石版・寫眞版 活字・母型
桐原医院
高橋内科小兒科醫院
電話三二九一番
室内装飾 家具
美風堂
白米下落相場は連鎖街の白米問屋大島屋へ
電三二〇〇番
池田小兒科専門醫院
滿日社印刷所
活版 石版 製本 諸印刷
宇治茶
辻利大連支店
アスフェチン
解熱鎮痛新劑
かぜ ねつ づつう ふしぶしの痛みによく効く
南滿洲硝子株式會社
プリズム ガラス各種
クボタ石油發動機
蘆田洋行
聾者 耳鳴 治療開始
光畑醫院
御存じ？
頭痛にはノーシンを
マツダランプ
TEC
東京電氣株式會社
材料の嚴選
需要家のみに直賣
輪界の革命車 メヤム號
三井物産株式會社
鳥羽洋行
淋病消渇に宇留神湯
日本橋薬局
清酒白鶴
サッポロビール
アサヒビール
亀甲萬醤油
嘉納合名會社大連支店